嘉麻市教育委員会

点検・評価報告書

（平成２２年度事業分）

平成２３年９月

嘉麻市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２７条及び嘉麻市教育基本条例第７条の規定に基づき、平成２２年度の教育委員会の点検及び評価を行いましたことを報告します。

嘉麻市教育委員会委員名簿　　平成２３年９月現在

職　　名	氏　　名	任　　期
委　員　長	豊福　眸子	平成２２年　７月　４日～平成２６年　７月　３日
委員長職務代理者	米原　太輔	平成２０年　８月２９日～平成２４年　８月２８日
委　　員	黒川　朝子	平成２１年　７月　４日～平成２５年　７月　３日
委　　員	田中　了彩	平成２３年　７月　４日～平成２７年　７月　３日
教　育　長	衆野　良一	平成２２年１１月　９日～平成２６年１１月　８日

目次

１．教育委員会点検・評価の概要について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １

⑴　はじめに

⑵　点検・評価の導入の目的

⑶　点検・評価する対象

⑷　点検・評価の方法

⑸　結果の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２

⑹　嘉麻市教育アクションプラン

（平成２１年度～平成２３年度嘉麻市教育振興基本計画）

２．教育委員会の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３

⑴　平成２２年度教育委員会実施状況

⑵　平成２２年度教育委員会の会議における議案・・・・・・・・・・・・・・・ ４

⑶　平成２２年度教育委員会の会議における協議・・・・・・・・・・・・・・・ ５

⑷　平成２２年度教育委員会の会議における報告

３．各種学校調査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６

４．事業別評価結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８

〇重要課題１　確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実・・・ 11

〇重要課題２　豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進・ 35

〇重要課題３　生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進・・・・・・・・・・ 47

〇重要課題４　いきいきとしたスポーツライフの創造・・・・・・・・・・・・・ 56

〇重要課題５　人権尊重精神を育成する教育の推進・・・・・・・・・・・・・・ 62

〇重要課題６　特色ある市民文化の創造・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65

５．全体評価結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75

《資料》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77

・嘉麻市教育委員会点検評価実施要綱

・平成２３年度嘉麻市教育委員会点検評価委員名簿

1. 教育委員会点検・評価の概要について

⑴　はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正及び嘉麻市教育基本条例の制定により、平成２０年４月から、嘉麻市教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しています。

⑵　点検・評価の導入の目的

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本的方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政事務を執行するものです。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックする必要があり、教育委員会が地域住民に対する説明責任を果たし、その活動を充実させることが目的です。

⑶　点検・評価する対象

嘉麻市教育教育アクションプラン（平成２１年度～平成２３年度嘉麻市教育振興基本計画）の事業を対象とします。

⑷　点検・評価の方法

事業ごとに、目的達成度の観点から自己評価を行い、点検・評価の客観性を確保するために第三者評価を行いました。

第三者評価については、教育委員や現場教員・事務局職員等ではない者で、教育に関して公正な意見を述べることが期待できる人を想定し、議会、ＰＴＡ連合会、社会教育委員、公民館運営審議会、図書館協議会、織田廣喜美術館運営協議会、体育指導委員、文化財保護審議会より推薦を頂いた方に依頼し評価していただきました。

（点検・評価の流れ）

① 教育委員会事務局（担当課）においてその所管する事務事業等を自己評価
② 自己評価の結果について評価の客観性を確保するため、嘉麻市教育委員会点検評価委員を設置し、自己評価に対しての評価
③ 教育委員会は評価委員の意見を踏まえ、教育委員会の会議において最終的な点検評価
④ 議会へ報告
⑤ 議会報告後、速やかにホームページ等で一般公表

(5)　結果の取扱い

この点検・評価においては、事業ごとに４段階【Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要】で評価しており、評価の高い事業については、引き続き実施し、評価の低い事業については課題や問題の解決を行うと同時に事業の見直しについて検討していく予定です。

(6)　嘉麻市教育アクションプラン（平成２１年度～平成２３年度嘉麻市教育振興基本計画）

嘉麻市教育委員会では平成２１年度を初年度とし、平成２３年度を目標年度とする３ヵ年の計画として、嘉麻市における教育の振興のための施策に関し基本的な事項を定めた「嘉麻市教育アクションプラン」を策定しました。

３年間を通じて嘉麻市教育委員会が目指す姿として、次の４つの基本目標を掲げ、教育行政を総合的に推進します。

一、　未来を拓く英知と豊かな創造性や個性に富み、社会の一員として公共の精神に基づく強い自覚と実践力のある市民を育成すること

一、　真理と正義を愛し、命あるものを尊び、他者を思いやり、共に生きる心や自律心、道徳心を持ち、人権を尊重する市民を育成すること

一、　豊かな感性とたくましく生きるための健康や体力に満ちた市民を育成すること

一、　文化と伝統を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養うとともに、人類の平和と繁栄に貢献できる国際性豊かな市民を育成すること

これら４つの基本目標を達成するため、本市教育委員会は、学校教育、社会教育、文化・芸術の各分野について、６つの教育施策の柱とし、その実現に向けて施策を推進しました。

教育施策の６つの柱

１．確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実
２．豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
３．生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進
４．いきいきとしたスポーツライフの創造
５．人権尊重精神を育成する教育の推進
６．特色ある市民文化の創造

今回の点検・評価では、この６つの柱に基づく施策・事業を対象とし点検・評価しました。

＊　嘉麻市教育アクションプラン（平成２１年度～平成２３年度　嘉麻市教育振興基本計画）は以下のホームページにてご覧いただけます。

「嘉麻市教育アクションプラン」

http://www.city.kama.lg.jp・・・行政情報（嘉麻市教育委員会）

2. 教育委員会の取組み

(1)　平成２２年度教育委員会実施状況

教育委員会は教育長を含む５名の委員で構成され、会議の実施については、原則、定例会が毎月１回、また、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する重要事項等を適時適切に慎重に審議しています。教育委員会は嘉麻市教育委員会定例学校訪問実施要項に基づき年次計画で定例学校訪問を実施しています。小中学校を訪問することで、学校教育現場の状況を確認することができ、教育委員の立場から要望など意見を述べました。

◆平成２２年度教育委員会開催実績

・定例会　　１２回
・臨時会　　３回　　計　　１５回

◆平成２２年度嘉麻市教育委員会学校訪問の実施状況

〇定例学校訪問（６校）

嘉麻市教育委員会が各学校における学校経営の諸課題を把握するとともに、改善に向けた方向性について協議及び所要の指導・支援を行うことにより学校力を向上させる取り組みです。

実施日：	平成２２年１０月１４日（木）	学校名：	熊ヶ畑小学校
	平成２２年１０月１９日（火）		泉河内小学校
	平成２２年１１月　４日（木）		千手小学校
	平成２２年１１月１１日（木）		稲築中学校
	平成２２年１１月１２日（金）		山田中学校
	平成２２年１１月３０日（火）		稲築東小学校

〇授業充実学校訪問（５校）

筑豊教育事務所が、各学校の人的管理及び運営管理の実情をもとに、授業公開を通して、学力向上に向けた取組の指導・支援を行います。

実施日：	平成２２年　６月　３日（木）	学校名：	足白小学校
	平成２２年　６月１０日（木）		碓井中学校
	平成２２年　６月１４日（月）		宮野小学校
	平成２２年１０月２１日（木）		稲築東中学校
	平成２２年１０月２５日（月）		上山田小学校

〇研究指定・委嘱校研究発表会（３校）

嘉麻市教育委員会が学校教育の充実と発展を目指して取り組む学校を指定委嘱し、学校教育の充実振興に寄与する取り組みです。

実施日：	平成２２年１０月２９日（金）	学校名：	牛隈小学校
	平成２２年１１月２２日（月）		碓井中学校
	平成２２年１１月２６日（金）		碓井小学校

(2)　平成２２年度教育委員会の会議における議案

番号	議　　案	開催日
1	嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備審議会の審議委員及び専門委員の任命について	4/7
2	嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備について（諮問）	4/7
3	嘉麻市嘉穂地区小学校統合学校運営検討委員会設置規程について	4/7
4	嘉麻市立小中学校長への意見徴求実施要綱について	4/7
5	「秋月（豊前）街道古八丁越」の文化財指定について	5/11
6	嘉麻市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則について	5/11
7	嘉麻市解放子ども会フィールドワーク補助金交付規程について	5/11
8	嘉麻市学校応援したい実施要綱の一部を改正する要綱について	5/11
9	嘉麻市社会教育委員の委嘱について	5/11
10	嘉麻市公民館運営審議会委員の委嘱について	5/11
11	嘉麻市体育指導委員の委嘱について	5/11
12	嘉麻市文化財審議会委員の委嘱について	5/11
13	嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会委員の委嘱について	5/11
14	嘉麻市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則について	6/1
15	嘉麻市特別支援教育連携協議会等設置要綱について	6/1
16	嘉麻市ボランティア人材バンク設置要綱の一部を改正する要綱について	6/1
17	嘉麻市体育協会補助金等交付要綱について	6/1
18	嘉麻市公民館運営審議会委員の委嘱について	6/1
19	嘉麻市立図書館協議会委員の委嘱について	6/1
20	嘉麻市学校評議員の委嘱について	6/1
21	嘉麻市学校評価委員の委嘱について	6/1
22	嘉麻市教育委員会教育委員長の選任について	7/6
23	嘉麻市教育委員会教育委員長職務代理者の選任について	7/6
24	福岡県立嘉穂総合高等学校嘉麻市立大隈城山校授業料減免規則の一部を改正する規則について	7/6
25	嘉麻シティマラソン補助金交付要綱について	7/6
26	楽しく走ろうふくおか子ども駅伝 in 嘉麻補助金交付要綱について	7/6
27	嘉麻市教育研究所条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則について	8/3
28	嘉麻市教育研究所管理規則等の一部を改正する規則について	8/3
29	嘉麻市教育委員会点検評価委員の委嘱について	8/3
30	嘉麻市教育委員会点検評価報告書（平成２１年度事業分）の自己評価結果について	8/3
31	平成２３年度使用小学校教科用図書の採択について	8/10
32	嘉穂地区統合小学校施設整備に関する農用地利用計画変更申出について	8/27

番号	議　　案	開催日
33	嘉麻市教育委員会点検・評価報告書(平成２１年度事業分)について	8/27
34	嘉麻市立小・中学校の少人数指導の実施に関する規則の一部を改正する規則について	10/5
35	嘉麻市教育委員会教育長の任命について	11/9
36	嘉麻市教育基本条例施行規則について	12/8
37	嘉麻市山田市民センター条例施行規則等の一部を改正する規則について	1/11
38	嘉麻市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則について	1/11
39	嘉麻市立図書館の開館時間を延長する告示について	1/11
40	嘉麻市サルビアパークの温水プールの個人利用料金の改定に関する承認について	1/11
41	嘉麻市学校給食物資選定委員会設置規程について	2/1
42	嘉麻市教育基本振興計画調整会議設置要綱について	2/1
43	嘉麻市立小中学校の学級編成に関する基本方針について	2/1
44	嘉麻市社会教育団体補助金交付要綱について	3/1
45	嘉麻市奨学資金条例施行規則の一部を改正する規則について	3/24
46	嘉麻市立小・中学校の少人数指導に関する規則の一部を改正する規則について	3/24
47	嘉麻市少人数指導特別教員規程の一部を改正する訓令について	3/24
48	平成２２年度学校提案型学力向上事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	3/24

(3)　平成２２年度教育委員会の会議における協議

番号	協　　議	開催日
1	嘉麻市教育委員会事業点検評価結果(平成２１年度分)点検評価スケジュール等について	4/7
2	市長マニュフェストについて	6/1

(4)　平成２２年度教育委員会の会議における報告

番号	報　　告	開催日
1	平成２２年度嘉麻市教育委員会事務局の組織について	4/7
2	「秋月（豊前）街道古八丁越」の嘉麻市文化財指定について（答申）	4/7
3	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について（毎月報告につき以下省略）	4/7
4	嘉麻市立小・中学校の少人数指導（３５人学級）について	4/7
5	嘉麻市立中学校の進路状況について	4/7
6	平成２２年度嘉穂中学校通学自動車運行計画について	5/11
7	教育財産の使用について	6/1
8	平成２２年６月議会上程議案について	6/1
9	平成２２年６月議会補正予算について	6/1
10	平成２２年度平和企画展「青い目の人形」の開催について	7/6

番号	報　告	開催日
11	平成２２年９月議会上程議案及び補正予算について	8/27
12	損害賠償の額を定める専決処分について	10/5
13	平成２２年１２月議会上程議案及び補正予算について	12/8
14	嘉麻市少人数指導特別教員規程の一部改正に伴う臨時代理報告について	1/11
15	補正予算第７号（きめ細やかな交付金関連）について	1/11
16	嘉麻市要保護及び準要保護児童生徒援助費並びに特別支援教育（特別支援学級）就学奨励費交付認定規程の一部を改正する告示について	3/1
17	平成２３年３月議会上程議案及び平成２３年度当初予算について	3/1
18	嘉麻市学校給食事業集金事務委託規程の一部を改正する告示について	3/24
19	平成２３年度教職員の人事（内示）について	3/24

3. 各種学校調査の結果

嘉麻市内各小中学校における、特別支援介助員・学級支援員等の配置状況をまとめました。平成２１年度と比べ、特別支援員や介助員は１名増員、少人数授業補助教員・複式学級解消指導員については、３名増員し、児童・生徒たちの学習支援環境を充実させました。

〇小中学校（全１７校）における、特別支援員等の配置数

NO	点検･評価項目	内　容	H21	H22
1	特別支援学級介助員･特別支援学級支援員の配置	肢体不自由な児童生徒の介助や特別支援学級に在籍する児童生徒の支援を行うために市費で雇用。	8名	9名
2	特別支援教育補助教員の配置	普通学級に在籍している特別支援の必要な児童生徒の指導等を行うために市費で雇用。	6名	9名
3	少人数授業補助教員･複式学級解消指導員の配置	少人数授業の補助や複式学級における指導を行うために市費で雇用。	9名	12名

各小・中学校で行われた、教育課程実施状況及び教育課程編成状況調査（ＮＯ．１～４）、全国学力・学習状況調査（ＮＯ．５～９）の設問を取り上げ、学校の取り組み・生徒たちの学習状況等について、平成２１・２２年度の回答数値を併記して比較しました。

小学校・中学校の調査では、ともに「家庭での学習習慣」が、小学校で３%、中学校で１１%も増え、「読書の習慣」についても県平均を超えており、図書司書の増員など市の事業の成果が少しずつ表れ、着実に学力の向上につながっていると考えられます。

○小学校　１２校　　＊学校・児童調査から　　（ ）は平成２２年度の県・国の平均値

NO	点検･評価項目	内　　容	H２１	H２２
1	読み書き計算等の習熟	基礎的、基本的な知識や技能の徹底を図る時間を設定している学校	１２校	１２校
2	組織的な習熟の取組	週時程への位置づけを行っている学校	１２校	１２校
3	発展的学習	教科学習の時間に発展的な学習を行っている学校	９校	９校
4	きめ細かな指導の実施	少人数指導（ティームティーチングを含む）を行った学校	１２校	１２校
	内訳：分割授業	課題別・習熟度別に分割授業を行った学校	１２校	１１校
	内訳：非分割授業	ティームティーチングによる授業を行った学校	１０校	１１校
5	食習慣	朝食を毎日食べている児童 （県９５．０%、国９６．４%）	９２．０%	９２．２%
6	自己肯定感	自分にはよい所があると思う児童 （県７２．３%、国７４．４%）	７０．６%	７３．７%
7	家庭での学習習慣	家で学校の宿題をしている児童 （県９５．６%、国９６．０%）	９１．４%	９４．６%
8	携帯電話の使用状況	携帯電話で通話やメールをしている児童 （県２３．９%、国２３．１%）	２１．５%	２９．２%
9	読書の習慣	家や図書館での１日あたりの読書時間 （県３２分、国３３分）	３２分	３４分

○中学校　　５校　　＊学校・生徒調査から　　（ ）は平成２２年度の県・国の平均値

NO	点検･評価項目	内　　容	H２１	H２２
1	補充指導の実施（１）	朝や放課後における補充指導の実施学校	５校	５校
2	補充指導の実施（２）	長期休業中における補充指導の実施学校	５校	５校
3	きめ細かな指導の実施	少人数指導（ティームティーチングを含む）を行った学校	５校	５校
	内訳：分割授業	課題別・習熟度別に分割授業を行った学校	３校	４校
	内訳：非分割授業	ティームティーチングによる授業を行った学校	５校	５校
4	食習慣	朝食を毎日食べている生徒 （県　９２．４%、国　９３．３%）	９０．４%	８９．２%
5	自己肯定感	自分にはよい所があると思う生徒 （県　６０．４%、国　６３．１%）	５０．０%	６１．０%
6	家庭での学習習慣	家で学校の宿題をしている生徒 （県　８３．６%、国　８４．６%）	６８．２%	７９．３%
7	携帯電話の使用状況	携帯電話で通話やメールをしている児童 （県　５１．９%、国　５２．８%）	５９．９%	５４．０%
8	読書の習慣	家や図書館での１日あたりの読書時間 （県　２４分、国　２５分）	２５分	２６分

4. 事業別評価結果

○重要課題1　確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

施策の内容	番号	事　業　名	A	B	C	D
⑴確かな学力の向上のための取組みの推進	1	35人学級推進事業		○		
	2	学校提案型学力向上事業		○		
	3	ふくおか学力向上事業推進補助事業		○		
	4	研究指定校補助事業		○		
	5	学力推進事業		○		
	6	教育課程実施状況評価事業		○		
⑵個性や能力を伸ばす教育の充実	7	補助教員配置事業		○		
	8	特別支援教育総合推進事業	○			
⑶社会の変化に対応する教育の充実	9	情報教育支援事業		○		
	10	情報機器整備事業		○		
	11	英語コミュニケーション能力の育成事業		○		
⑷信頼される教員の確保と研修の充実	12	教職員研修事業		○		
	13	教職員人事配置事業		○		
⑸安心して学べる学校づくりの推進	14	奨学資金貸付事業			○	
	15	幼稚園就園奨励費交付事業	○			
	16	嘉穂地区小学校統合審議会運営事業		○		
	17	嘉穂地区小学校統合施設整備事業		○		
	18	学校施設維持管理整備事業	○			
	19	学校運動場芝生化事業		○		
	20	学校防犯体制整備事業	○			
	21	大隈城山校運営事業	○			
⑹地域に開かれた学校づくりの推進	22	学校関係者評価事業		○		
	23	学校ホームページ開設事業	○			
⑺小中一貫教育への取り組み	24	小中一貫教育研究事業		○		

○重要課題2　豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

施策の内容	番号	事　業　名	A	B	C	D
⑴道徳性と自立心を養う心の教育の充実	25	道徳教育推進事業		○		
	26	キャリア教育推進事業		○		
	27	ボランティア活動推進事業		○		
⑵健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実	28	学校保健事業	○			
	29	学校給食事業		○		
	30	青少年健全育成事業		○		
⑶家庭・地域・学校における読書活動推進	31	読書活動推進事業		○		
⑷いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実	32	いじめ総合対策推進事業		○		
	33	不登校対策事業		○		
⑸家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実	34	学社連携・融合事業		○		
	35	地域教育資源活用事業		○		
	36	地域における家庭教育支援基盤形成事業	○			

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

○重要課題3　生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進

施策の内容	番号	事　業　名	A	B	C	D
⑴生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備	37	社会教育関係団体等育成事業		○		
	38	指導者の養成及び各団体の育成、活性化事業		○		
	39	ボランティア事業	○			
	40	公民館・分館等の連携強化推進事業		○		
	41	分館及び自治公民館等活動費補助事業		○		
⑵学習機会の提供及び学習成果の活用促進	42	生涯学習推進事業		○		
	43	青少年の体験活動推進事業		○		
	44	コミュニティ活動支援事業		○		
	45	公民館等事業・講座事業		○		

○重要課題4　いきいきとしたスポーツライフの創造

施策の内容	番号	事　業　名	A	B	C	D
⑴子どもたちの体力・運動機能向上の推進	46	子どもの体力・運動能力向上事業		○		
⑵多様なスポーツ参加機会の充実	47	スポーツ提供事業		○		
⑶指導者の養成と活用	48	スポーツを支える人づくり事業		○		
⑷既存スポーツ施設の効果的・効率的な管理運営	49	体育施設管理運営事業		○		
⑸総合型地域スポーツクラブの育成・支援	50	総合型地域スポーツクラブ支援事業		○		
⑹市民主導で運営するｽﾎﾟｰﾂ行事の支援	51	スポーツ団体支援事業		○		

○重要課題5　人権尊重精神を育成する教育の推進

施策の内容	番号	事　業　名	A	B	C	D
⑴学校教育における人権教育の推進支援	52	人権教育推進事業			○	
⑵社会教育における人権・同和教育の推進・支援	53	人権学習推進事業			○	
	54	解放学級育成事業		○		

○重要課題6　特色ある市民文化の創造

施策の内容	番号	事　業　名	A	B	C	D
⑴文化芸術活動の推進	55	文化芸術活動推進事業		○		
⑵図書館の利用促進	56	図書施設運営管理事業		○		
	57	読書活動推進事業		○		
	58	図書ボランティア養成事業		○		
⑶美術館の利用促進	59	美術館運営管理事業	○			
	60	企画展事業	○			
	61	美術館ボランティア養成事業		○		
	62	美術教育普及事業		○		
⑷文化財の保護・継承・活用	63	歴史民俗教育普及事業	○			
	64	文化財保護事業	○			

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

☆点検評価表の見方☆

<table>
<tr><td>事業名
（予算・決算）</td><td colspan="5">[番号]　　事業名　　（課：係）
（予算：　　千円　決算：　　千円）</td></tr>
<tr><td>目　　的</td><td colspan="5">事業の目的について記載しています。</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td colspan="5">平成２２年度に実施した事業について記載しています。</td></tr>
<tr><td>Ｈ２２年度の課題と取り組み</td><td colspan="5">【課題等】
平成２２年度の課題として挙げた事項及び、評価委員に指摘された事項を記載しています。

【課題等への取り組み】
上記の課題について、どのような取り組みをしたか記載しています。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">事務局自己評価</td><td>評価項目</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr>
<tr><td>事業の必要性</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>事業の効果</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>事業の効率性</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">【自己評価の根拠】

自己評価に至った理由について記載しています。
評価の指標は、次のとおりです。
Ａ：期待通り
Ｂ：概ね期待通り
Ｃ：課題あり
Ｄ：事業の見直し要</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td colspan="5">この事業の目標を達成するための方向性について記載しています。</td></tr>
<tr><td>Ｈ２３年度の課題</td><td colspan="5">平成２３年度の課題について記載しています。</td></tr>
<tr><td colspan="6">『評価委員の意見』

点検評価会議でいただいた、評価委員の意見を記載しています。</td></tr>
</table>

評価委員の意見を踏まえ教育委員会が評価します

教育委員会評価	今回	
	（前回）	（　　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

<table>
<tr><td>事業名
（予算・決算）</td><td colspan="5">［1］３５人学級推進事業（学校教育課：教務係）
（予算：　　４７，１３９千円　決算：　　４６，１９２千円）</td></tr>
<tr><td>目　　的</td><td colspan="5">一学級の児童生徒数を３５人以下にすることにより、より個に応じた指導を行うことによって、生徒指導の充実、学力を向上させるよう努めます。</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td colspan="5">小学校５名、中学校７名の少人数指導特別教員を配置し、小学校の３５人学級の完全実施及び中学校の少人数指導を推進しています。
（平成２１年度新規事業）</td></tr>
<tr><td>Ｈ２２年度の課題と取り組み</td><td colspan="5">【課題等】
児童生徒の異動があるため、３５人前後の学級は生徒数が確定するまで講師の割当ができず、講師の割当が難しいことです。
【課題等への取り組み】
３月１日現在の児童生徒数で、講師の割当を行い、少人数指導特別教員を確保しました。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">事務局自己評価</td><td>評価項目</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr>
<tr><td>事業の必要性</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>事業の効果</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>事業の効率性</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">【自己評価の根拠】
少人数指導の実施により、きめ細かな指導が充実することで、基礎・基本の学力の定着が図られるとともに、問題行動も減少し、落ち着いた学校生活が送られるようになりました。嘉麻市の平均正答率は福岡県の平均正答率より低いものの、福岡県の平均正答率を上回る学校も出てくるなど、成果は上がっています。また、全国学力・学習状況調査の結果では、児童生徒の自尊感情も高くなっており、学力向上の兆しが見えています。少人数指導の更なる充実のため、嘉麻市教育基本条例を改正し、小学校全学年及び中学校第１学年は３０人以下の児童生徒で編成する少人数指導を平成２３年度より実施するため、少人数指導特別教員を確保しました。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td colspan="5">小学校全学年及び中学校第１学年は３０人以下、中学校第２学年及び第３学年にあっては３５人以下の児童生徒で編成する等の指導形態による少人数指導を実施し、生活面での落ち着きが学力向上につながるよう、今後も個に応じた指導を充実させていきます。</td></tr>
<tr><td>Ｈ２３年度の課題</td><td colspan="5">少人数指導の学級編成基準日を３月１日とし、少人数指導特別教員を確保するようにしていますが、福岡県や他の市町村でも講師を任用しており、よりよい人材を確保するためには、労働環境等の更なる整備が必要です。</td></tr>
<tr><td colspan="6">『評価委員の意見』
学力アップには体力向上と生徒指導が大きくかかわりがあり、そのうち問題行動が減ったことを評価する。
人材確保の面で、退職教員の活用もいいと思うが、若者の雇用の場も広げる必要がある。</td></tr>
</table>

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

事業名 （予算・決算）	**［２］学校提案型学力向上事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　２，４００千円　決算：　　２，４００千円）
目　　的	学校提案による教育課程外の事業を実施することにより、各学校・地域等の活性化を図り、学力を向上させるよう努めます。
事業内容	学校提案による学校外補習学習授業、学校創意工夫事業を小学校３校、中学校５校で実施しました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 各学校の特色を生かした積極的な取組が見られ、成果もあがっています。その成果を市全体に広げていく必要があるため、対象校を増やします。 【課題等への取り組み】 対象校を４校から８校に増やし、学校外補習学習を実施しました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
学校提案型学力向上事業の対象校を４校から８校に増やし、夏季、冬季休業中に、卒業生や地域ボランティアによる補習学習を行いました。小学校では基礎・基本の習熟を図り、中学校では３年生を対象に進路実現を目指した補習学習を行いました。基礎・基本の定着が図られる一方、学生ボランティア等から学習の仕方や心構えを聞くことにより、受験を迎える生徒たちの学習意欲の喚起につながりました。
個々の児童生徒の学力定着度に応じ、一人一人の個性の伸張を更に図るための学力向上策を研究・開発する事業として「個に応じた学力向上モデル事業」を新たに追加するため、学校提案型学力向上事業補助金交付要綱の一部を改正しました。

今後の方向性	学校提案による、「個に応じた学力向上モデル事業」、「学校外補習学習推進事業」、「学校創意工夫事業」を通して、嘉麻市の児童生徒の学力向上に努めます。 また、対象校を１２校程度に増やし、基礎学力の定着だけでなく、個々の学力定着度に合わせた取り組みを行うことで、市全体での学力向上の機運を盛り上げていきます。
Ｈ２３年度の課題	全国学力・学習状況調査で、嘉麻市の平均正答率は福岡県平均より低く、基礎学力が定着していない児童生徒が多く見られます。そのため、対象校を１２校程度に増やし、学力定着度に応じた事業を実施するなど、児童生徒の実態に応じた取組を行う必要があります。

『評価委員の意見』
全学校で積極的に取り組むべきである。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

事業名 （予算・決算）	**［３］ふくおか学力向上事業推進補助事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　６８０千円　決算：　　６８０千円）
目　　的	児童生徒の学力、学習状況等をふまえた学力向上に関する基本方針、施策や施策評価を行うとともに、諸施策の円滑かつ効果的な推進、意見交換を行うことにより、学力向上を図ります。
事業内容	小学校３校、中学校１校を学力向上推進校として、学力向上プランを策定し、実施しました。嘉麻市教育センターと連携し、指導技術研修会や学力向上研修会等を実施しました。家庭との連携を深め、「新家庭教育宣言」運動を全小、中学校で実施しています。 （平成２０年度からの３年間の県の補助事業）
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 学力向上に向けた教師の授業改善に向けた意欲に、課題が見られるため、研修会の実施や学校への指導を行い、学力向上に向け各学校の足並みが揃うよう取り組んでいきます。 【課題等への取り組み】 市全体での学力向上研修会を開催し、市内全教職員の学力向上に向けた実践の意識化を図りました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
市全体での学力向上研修会を開催し、市内全教職員の学力向上に向けた実践の意識化を図ることができました。しかし、授業改善に向けた取り組みを市内の小・中学校で行う必要があります。
全国学力・学習状況調査の結果から、嘉麻市の児童生徒は、家庭における学習習慣が少なく、家庭における学習習慣がついている児童生徒ほど学力が高いことがわかりました。家庭学習の定着が学力向上につながるため、嘉麻市ＰＴＡ連合会と共催で「家庭学習のすすめ」を作成しました。

今後の方向性	学力向上に向けた授業改善を促すとともに、家庭学習の手引等を作成し、全市的な取組を進めていきます。
Ｈ２３年度の課題	４月に全児童生徒に配付した嘉麻市独自の「家庭学習のすすめ」を中心に、各学校で家庭学習の定着に向けた共通の取組を行い、嘉麻市全体の学力の底上げを図る必要があります。また、学力向上向けた全体研修会を実施し、授業改善の推進を図っていく必要があります。

『評価委員の意見』
市が事業を継続したことを評価する。
「家庭学習のすすめ」のカードを作成したことは、一つの進歩だと思う。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｂ　）

事業名 （予算・決算）	**［４］研究指定校補助事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　１，８００千円　決算：　　１，８００千円）
目　　的	研究指定事業を通して、教職員の実践的指導力の向上を図るとともに、一人一人の資質の向上に向けた研修等への参加支援体制の整備を図ります。
事業内容	研究指定校を２ヵ年事業として、毎年小学校２校、中学校１校を委嘱し、２年次に研究発表を行いました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 計画的・継続的な研修の実施に対して、学校間で差があるため、研修等への参加支援体制の整備を図ります。 【課題等への取り組み】 学校間での差を無くすため、研修等への参加支援体制の整備を図りました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
研究発表会を起点として授業改善を積極的に進めていくようにしていく必要があります。
校内研究が活性化され、研究発表を行うことで教職員の実践的指導力の向上が図られます。

今後の方向性	学校長の校内研修による授業改善の意識が高まるように働きかけを行うとともに、大学教授等を講師にした研修会の実施を促していきます。
Ｈ２３年度の課題	児童生徒の学力向上において、日々の授業改善・充実は喫緊の課題です。そのためには、研究発表会に向け、校内研究を計画的・継続的に行い、発表会後は継続的・発展的にすすめていく必要があります。そのために、市の指導主事等を積極的に活用していくよう促す必要があります。

『評価委員の意見』
教職員は研究発表するたびに育つと思うので、校長に取組みを進めるよう指導すべきである。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［５］学力向上推進事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　３，７７５千円　決算：　　３，５３５千円）
目　　的	児童生徒の実態を把握・分析し、課題を明らかにして学校内の組織的な取組の改善を図り、自ら学び考えるなどの確かな学力を育む教育の充実を図ることです。
事業内容	学力実態調査を実施し、嘉麻市内の児童生徒の実態を把握し、分析を行いました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 学力実態調査の結果を日々の授業改善に結び付けていくことです。 【課題等への取り組み】 学力実態調査を実施しました。また、分析ツールの活用についての教務主任研修会を実施し、各学校の学力実態の分析を行いました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
嘉麻市の平均点は福岡県の平均点を下回っており、今後も組織的、継続的な取組が必要です。しかし、学力実態調査から課題を整理し、学期ごとに取組の評価を行い、次への改善に繋いでいる学校が増え、学力向上に向けた組織的な取組が見られました。

今後の方向性	学力実態調査から、更に細かく課題を整理することなどを継続して行っていきます。
Ｈ２３年度の課題	学力実態調査を細かく分析し、各学校・各学級の実態に応じた授業改善に生かしていく必要があります。

『評価委員の意見』
市は学力向上のための事業をよくやっていると思う。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｂ　）

事業名 （予算・決算）	**［６］教育課程実施状況評価事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　個別予算なし　　決算：　　個別予算なし　　）
目　　的	学校教育の目的や目標を達成するために学校において編成・実施される教育課程について、各学校の実態に応じた教育活動が行われるよう指導助言を行うことです。
事業内容	各学校の実態に応じた教育活動が行われるよう指導助言を行いました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 教務主任研修等の充実を図ってもらいたい。（前年評価委員意見） 新教育課程に向けた各教科・領域における適切なカリキュラムを作成することです。 【課題等への取り組み】 教務主任研修会を定期的に開催し、指導・助言及び相談を行いました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成・実施・評価について指導助言を行い、新学習指導要領の完全実施に向けた移行も、各校の教務主任により円滑に行われています。
新しい学習評価の実施と併せ、各教科・領域の評価規準の作成や適正な評価の実施など、教育課程の内容充実が必要です。

今後の方向性	教務主任研修会等を定期的に実施し、教務主任の職能成長を図り、適切な教育課程マネジメントを促していきます。
Ｈ２３年度の課題	教務主任研修会等で、新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の内容を充実するよう、全市的な取組が必要です。

『評価委員の意見』
教育委員会がしっかり指導すべきである。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｂ　）

事業名 （予算・決算）	**［7］補助教員配置事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　４０，２１２千円　決算：　　３８，２９９千円）
目　　的	特別支援教育充実のための補助教員、介助員、支援員を配置し、一人一人のニーズに応じた教育条件の整備を図ります。
事業内容	特別支援教育補助教員９名、特別支援学級介助員４名、特別支援学級支援員５名を配置し、一人一人のニーズに応じた特別支援教育を行いました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 嘉麻市独自の事業であり、もっとアピールしてほしい。（前年評価委員意見） 補助教員、支援員、介助員の特別支援教育についての正しい知識と対応のあり方に個人差があるため、特別支援教育の研修会を実施し、基礎的な理解を図ります。 【課題等への取り組み】 特別支援教育の全体研修会の実施や、巡回相談の活用を促しました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
特別支援教育についての専門的な研修を実施することができず、専門的な指導については今後の課題となっています。特に、通常の学級における個別の指導については、計画的・組織的な支援計画等に学校差・学級差があり、巡回相談等を活用し、関係機関と連携して支援計画を作成し、実践していく必要があります。
しかし、各学校の要望に応じて補助教員９名、介助員４名、支援員５名を配置し、子ども一人ひとりのニーズに応じた教育支援を実施しました。

今後の方向性	早い時期に特別支援教育の研修会を実施し、基礎的な理解を図るとともに、学校訪問等で個別の指導を行っていきます。
Ｈ２３年度の課題	特別支援教育全体研修会を実施し、教職員一人一人の理解を深めるとともに、各校の特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育体制づくりが必要です。その上で、巡回相談等を実施し、個別の教育支援計画等を作成し、実践していくようにする必要があります。

『評価委員の意見』
教職員の退職者や若い教員など良い人材を確保すべきである。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

事業名 （予算・決算）	**［８］特別支援教育総合推進事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　４７５千円　決算：　　４７５千円）
目　　的	保育所（園）・幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における特別支援教育を総合的に推進することです。
事業内容	特別支援教育連携協議会の開催、巡回相談の実施等、発達障がいを含む障がいのある幼児児童生徒を支援しています。 （平成２１年度新規事業。単年度継続の補助事業。）
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 健康課やこども育成課等と連携し、就学前・小･中学校の連携を深め、一貫した特別支援教育の推進を図ります。 【課題等への取り組み】 特別支援教育連携協議会の開催、巡回相談の実施により、就学前・小･中学校の連携を深め、一貫した特別支援教育の推進を図りました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】
各学校の特別支援教育コーディネーターと、保健師が連携していくことで、就学前から中学校までの段差のない、教育活動が展開されるようになりつつあります。
また、巡回相談を実施し、専門的な指導助言を受けることで、よりきめの細かい指導が行われるようになってきています。

今後の方向性	小･中学校だけでなく、就学前においても巡回相談を実施していきます。 嘉麻市特別支援教育研修会を実施したり、パンフレットを活用したりして、特別支援教育の基礎的な理解を図るとともに、特別支援教育についての啓発を行っていきます。
Ｈ２３年度の課題	就学前から高等学校までの一貫した特別支援教育を充実していくために、巡回相談等の一層の活用が必要です。また、子ども一人一人のニーズに応じた教育を進めていくためには、保護者等への特別支援教育の正しい理解が得られるような啓発活動が必要です。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（　B　）

事業名 （予算・決算）	**［９］情報教育支援事業（情報教育推進教員配置）（学校教育課：教務係）** （予算：　　１８，０１０千円　決算：　　１６，４６８千円）
目　　的	児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的かつ適切に活用できるようにするため、情報教育の充実を図ります。
事業内容	教育研究所に情報教育推進教員を１名配置し、児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力の育成、情報モラル教育を行いました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 情報モラル教育充実のため、家庭や企業との協力体制の整備、教職員への研修の充実を図ってもらいたい。（前年評価委員意見） サポート体制として新たな人材の配属（ＩＣＴ支援員４名）並びに情報教育推進協議会活動の活性化を促します。 【課題等への取り組み】 ＩＣＴ支援員を４名配置し、全学校でのサポート体制を作りました。
事務局自己評価	評価項目 / A / B / C / D 事業の必要性：○ 事業の効果：○ 事業の効率性：○ 【自己評価の根拠】 ４名のＩＣＴ支援員の配置により、各学校の情報教育の充実に向けたサポート体制を整備し、学校ホームページを整備しました。また、児童生徒用のノートパソコンや電子黒板、地デジ化テレビの整備により、情報機器を活用した授業実践や研究を実施しています。
今後の方向性	新学習指導要領に対応した情報機器の活用や情報モラル等の授業を行い、教員の情報活用能力の向上を図っていきます。また、各学校への情報教育の授業者として関わりを深め、全国の情報化サポート体制を検証していきます。
Ｈ２３年度の課題	ＩＣＴ支援員の配置により、情報教育の環境整備はなされてきたが、学校ホームページを積極的に活用した情報発信や、児童生徒の情報機器の活用力の成果規準を具体化した学習を実施していく必要があります。
『評価委員の意見』 評価委員の意見はありませんでした。	

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｂ　）

事業名 （予算・決算）	**［１０］情報機器整備事業（教育総務課：庶務係）** （予算：　１９９，３０８千円　決算：　１８７，０４０千円）
目　　的	児童生徒の情報活用能力の育成、及び情報モラル教育の充実を図ることです。
事業内容	・ 山田、稲築、碓井地区小中学校（10 校）のＰＣ教室のパソコンリプレース ・ 教育用ＰＣ(388 台)及び校務用ＰＣ(274 台)の配置 ・ 電子黒板の配置（各学校１台） ・ 情報セキュリティ支援（ＵＳＢ貸与）
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 ・ 校務用ＰＣの不足分の補充 ・ 教職員活用能力の向上 【課題等への取り組み】 ・ パソコン教室のリプレース後のＰＣをリユースし配置。 ・ 教育センターの情報教育推進教員による研修会等の開催

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
高度情報通信社会を生き抜くための情報活用能力の育成は重要課題であり、そのための施設整備は必須です。今年度ＩＣＴ支援事業（国庫補助）を受け、教育用ＰＣ及び校務用ＰＣを整備し、国の基準である児童生徒 3.6 人/1 台を満たすことができました。
今後は、授業におけるＩＣＴの活用を促進するために教職員の活用能力の向上を図り、その能力に応じた設備の配置を行う必要があります。

今後の方向性	ＩＣＴを活用した授業の充実を図るために、必要に応じて情報機器の整備を図ります。
Ｈ２３年度の課題	現在導入している教育用ＰＣ、校務用ＰＣ及び電子黒板の利用状況を学校ごとに把握し、利用が低い学校に対しては、活用を促します。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

事業名 （予算・決算）	**［１１］英語コミュニケーション能力の育成事業** **（学校教育課：教務係）** （予算：　　２２，２６５千円　決算：　　２２，２６５千円）
目　　的	言語や文化についての体験的に理解を深め、英語によるコミュニケーション能力を養い国際感覚を身に付けさせることです。
事業内容	国際的な共通語として英語によるコミュニケーション能力の育成や文化についての体験的理解を深めることを目的として、外国語指導助手（ＡＬＴ）の活用による外国語活動の充実を図ります。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 小学校の外国語活動の授業を充実させます。 【課題等への取り組み】 ＡＬＴを１名増員し、各中学校区に１名のＡＬＴを配置しました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
ＡＬＴを各中学校区に１名配置し、小･中学校における外国語教育の充実を図ることができました。また、小学校教員を対象に、嘉麻市独自の研修会を実施し、外国語活動の充実に向けた指導力の向上を図ることができました。

今後の方向性	英語によるコミュニケーション能力の育成や文化についての体験的理解を深めるため、外国語教育の更なる充実、教職員の指導力向上のための取組を行います。
Ｈ２３年度の課題	ＡＬＴを各中学校区に１名配置したことで、小学校の外国語活動に対しても柔軟に対応しており、外国語活動指導者研修会の実施と併せて、特に小学校の教職員の指導力向上を図っていく必要があります。

『評価委員の意見』
月に１～２回程度、小学校でＡＬＴとの交流ができるような研修会を行うべきである。
特に発音の練習を中心にＡＬＴを活用してもらいたい。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　A　）

事業名 （予算・決算）	**［１２］教職員研修事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　個別予算なし　　決算：　　個別予算なし　　）
目　　的	教職員及び教育研究団体等の教育研究を奨励するとともに、県、市及び各種の教育研究指定・委嘱校をはじめ、各校の研究助成を積極的に行い、校内研究の活性化を図り、教職員の資質向上に努めます。
事業内容	教職員研修、授業充実研修、専門研修の実施。校内研修における指導助言を行いました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 教育研究所を教育センターに改め、教職員研修の更なる充実に努めます。 【課題等への取り組み】 教育研究所を教育センターに改め、教職員研修等の事業の充実に努めました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
教育研究所を教育センターに改め、所長を常勤にするなど、センター機能の強化を図りました。指導主事の活用により、計画的・継続的な授業改善に取り組みました。また、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置し、教育相談・学校支援機能の充実を図りました。

今後の方向性	公開授業の日程を集約、積極的に学校訪問し、指導を行いました。また、５年経過未満の教員の授業力向上に向けた、指導を行っていきます。 教育センターに指導主事を配置し、教職員研修はすべて教育センターで実施します。
Ｈ２３年度の課題	教職員研修をすべて教育センターで行うため、教育センターに指導主事を配置し、教職員研修の更なる充実に努めます。学校からの校内研修への指導要請に対し、柔軟に対応し、充実を図っていく必要があります。

『評価委員の意見』
校長中心に教職員の研修を積極的に行うことで、子どもたちも力がつくと思う。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

事業名 （予算・決算）	［１３］教職員人事配置事業（学校教育課：教務係） （予算：　個別予算なし　　決算：　個別予算なし　　）
目　　的	教職員の交流を図り、人事の適正化を進めます。また、地域の実態を踏まえ、学校間格差をなくす人事配置を実施すること。さらに小・中学校連携の推進の観点から小・中学校の人事交流を行っていきます。
事業内容	地域の実態を踏まえ、学校間格差をなくす人事配置を実施し、小・中学校の人事交流を行いました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 授業力、生活指導力のある教師の育成を図ってもらいたい。 年齢構成のバランスに配慮した人事配置が必要です。 【課題等への取り組み】 地域の実態や年齢構成に配慮した人事配置を実施しました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
年齢構成のバランスに配慮した人事配置を行うため、新規採用教職員の配置を希望していましたが、小学校の教職員が過員（定数を超える状況）だったため、小・中学校において、新規採用教職員を配置できませんでした。しかし、地域の実態や年齢構成に配慮し、学校間格差をなくす人事配置を実施しました。

今後の方向性	嘉穂地区小学校の統廃合により、平成２６年度には小学校の教職員数が定数を上回る状況になります。学校格差をなくす人事配置の実施とともに、教職員数が定数内となるような計画的な人事配置が必要となります。 嘉麻市外の学校に異動となる教職員が多く、指導力のある教職員を確保するためには、教職員研修を充実することにより、教職員の資質向上に努めます。
Ｈ２３年度の課題	年齢構成のバランスに配慮した人事配置の実施とともに、教職員数が定数内となるような計画的な人事配置が必要です。また、講師の確保に向けて、教員養成系の大学との連携を図っていく必要があります。

『評価委員の意見』
人事配置は重要な事業であると思うので、しっかり取り組むべきである。

教育委員会評価	今回 （前回）	Ｂ （　Ｂ　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［１４］奨学資金貸付事業（教育総務課：庶務係）** （予算：　　３２，１００千円　決算：　　３０，３８４千円）
目　　的	経済的な理由により就学が困難な人に対して、経済的な負担の軽減を図ります。
事業内容	・嘉麻市奨学資金貸付に関する業務（貸与中の人数：61 人） ・嘉麻市奨学資金返還に関する業務(返還中の人数：154 人) ・福岡県財団奨学金申請受付業務 ・地域改善対策奨学資金返還免除申請受付（受付件数：87 件）
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 １市２町において実施されていた奨学金の貸付事業は、平成 18 年度の合併時にすべて引き継ぎ、継続して実施しています。現在の奨学生数は、平成 22 年度中の貸付者 61 名、返還者が 154 名であり、管理するデータの規模は大きくなっています。そのため、台帳による奨学生の情報管理が困難な状況です。 【課題等への取り組み】 台帳により管理している奨学生の情報を整理し､システムの運用開始のためにデータの入力を行い、準備を進めました。
事務局自己評価	評価項目 / A / B / C / D 事業の必要性 / ○ / / / 事業の効果 / / / ○ / 事業の効率性 / / / ○ / 【自己評価の根拠】 嘉麻市奨学金返還の収納率は、平成 21 年度 45.4%に対し、平成 22 年度 46.6%と約１%向上しました。しかしながら、奨学生の一元的なデータの管理が未実施のため、滞納者に対する督促は、効果的なものではありませんでした。
今後の方向性	経済的な理由により、就学が困難な家庭の支援を引き続き実施するとともに、返還能力がある滞納者に対し、法的な措置を含めた徴収の強化を図ります。
Ｈ２３年度の課題	就学困難な家庭の支援を拡大し、併せて返還金の収納率を向上するための制度を確立させるとともに、一元的に奨学生のデータを管理するためにシステムの運用開始を行う必要があります。
『評価委員の意見』 奨学金の返還率が低いのは問題である。 督促のしかたを工夫してはどうか。	

教育委員会評価	今回	C
	（前回）	（　C　）

事業名 （予算・決算）	**［１５］幼稚園就園奨励費交付事業（教育総務課：庶務係）** （予算：　　４０，４１７千円　決算：　　３８，７８３千円）
目　　的	子育て期の保護者の経済的な負担を軽減します。
事業内容	・私立幼稚園の設置者が当該幼稚園に在園する保護者に対して保育料の減免措置を行った額を補助しています。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】国の補助制度に基づく事業であるため、国の動向により補助金額が変動します。 【課題等への取り組み】 国の基準により、補助金の交付を実施しました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】
国の補助基準に基づき、速やかに補助金の交付事務を実施することができました。

今後の方向性	この制度は、保護者の経済的な負担の軽減を図り、公立、私立幼稚園の保護者負担の格差を是正することを目的とした国庫補助制度であり、子育て支援の施策として、今後も継続的に実施します。
Ｈ２３年度の課題	国の施策であり、国の補助基準額に基づき、補助を実施しています。国からの補助率は１/３であるため、補助基準額や申請者数が増加することにより市の負担額が増加します。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（　―　）

事業名 （予算・決算）	**［１６］嘉穂地区小学校統合審議会運営事業（開校準備室）** （予算：　　１，３９１千円　決算：　　１，１６８千円）
目　　的	嘉穂地区の５小学校（大隈小、宮野小、足白小、千手小及び泉河内小）を１つの新設小学校に統合するため、統合小学校の施設整備等について議論するために、ＰＴＡ及び地域代表者により構成される審議会を円滑に運営することです。
事業内容	平成２２年４月に次の３つの諮問内容について審議しました。 [諮問１]小学校統合施設の基本設計の内容について [諮問２]小学校統合施設の学校名称の選定手法について [諮問３]統合後の通学対策の具体的な手法について 諮問事項について、１４回の審議を行い、諮問１及び２については、平成２３年１月に中間答申をしました。諮問３については、引き続き審議中です。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 施設基本設計、学校名の選定手法、通学対策の具体的手法について審議していきます。 【課題等への取り組み】 審議会にて上記課題について１４回の審議を行いました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
小学校統合に関しては、市民と協働による手法で様々なことを決定しています。平成２２年度においても、１４回の審議会を開催することができました。平成２３年１月には、施設の基本設計及び学校名称についての中間答申をいただきました。ただし、通学の具体的な手法については、翌年度まで継続して審議しています。

今後の方向性	嘉穂小学校の通学対策、校歌、校章、跡地活用等について審議会で方向性を決定していきます。
Ｈ２３年度の課題	統合小学校の通学対策について、統合対象学校区において通学路等について協議する委員会を立ち上げる必要があります。

『評価委員の意見』
自治基本条例制定前から市民協働を実施しているので、Ａ評価でよいと思う。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　A　）

事業名 （予算・決算）	**［１７］嘉穂地区小学校統合施設整備事業（開校準備室）** （予算：　２８７，８９２千円　決算：　　１２，５０５千円）
目　　的	嘉穂地区にある５つの小学校を１つに統合するため、嘉穂地区小学校統合施設（統合小学校）の具体的な整備を行うことです。
事業内容	用地取得業務　９筆　約２６，０００㎡ ＊農用地振興地域除外申請を行いました。 設計業務 ＊測量設計、各種申請業務を外部委託し、統合小学校の基本設計及び実施設計を行います。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 用地取得及び実施設計を年度内に完了させることが課題です。 【課題等への取り組み】 法令等に基づく手続き等に時間を要し､用地取得及び実施設計の年度内完了はできず、平成２３年度中に完了する予定です。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果			○	
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
各申請行為等については想定していた期間において事務処理を行いましたが、農地取得に関する法令改正等の影響により審査期間に時間を要し、結果として年度内の用地取得及び実施設計ができませんでした。

今後の方向性	平成２６年４月開校をめざし、１日でも早く統合小学校を建設に向けて施設整備を図っていきます。
Ｈ２３年度の課題	農用地振興地域除外が完了後、開発行為申請手続き及び農地転用申請手続きを行い、用地取得することです。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

事業名 （予算・決算）	**［１８］学校施設維持管理整備事業（教育総務課：庶務係）** **（予算：　１６２，４５８千円　決算：　１４０，０３５千円）**
目　　的	すべての児童、生徒が安心して学習に取り組むことができる校舎等の維持管理を行い、快適な教育環境の整備を図ります。
事業内容	市内小、中学校 17 校（小学校 12 校、中学校 5 校）の施設整備及び維持管理 　施設修繕及び補修工事 　耐震補強工事（宮野小学校、足白小学校、千手小学校） 　施設維持管理業務委託（草刈、清掃、樹木剪定、浄化槽維持管理、電算機器保守等）
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 　老朽化による修繕箇所の増加が著しく、単年度での補修は困難な状況です。 【課題等への取り組み】 　緊急性の高いものから施設整備を実施し、安全性の確保に努めています。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】
　安心で安全な教育環境を整備するために必要な事業です。
　耐震化も 100%完了し、安心、安全な環境整備を優先的に実施しています。しかしながら経年劣化による修繕箇所の増加が著しく、今後は、大規模な補修工事等の施工が必要となります。

今後の方向性	大規模改修工事のための調査、検討を行い、年次計画的に 1 校ずつ実施します。
Ｈ２３年度の課題	安心、安全な教育環境を維持するために、緊急性を要するものから施設の整備を行います。

『評価委員の意見』
各補助金が研究され、教育施設の充実を願う。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（　B　）

事業名 （予算・決算）	**［１９］運動場芝生化事業（教育総務課：教育企画係）** （予算：　　個別予算なし　　決算：　　個別予算なし　　）
目　　的	子どもたちがより積極的に外で楽しくスポーツができる環境を整備し、子どもたちの体力向上及び地域コミュニティの活性化に寄与する場として、嘉麻市立小・中学校の運動場を芝生化することです。
事業内容	学校運動場に芝生化するために、天然芝又は人工芝を敷設した場合の費用の比較検討・調査を行いました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 実施校とともに、芝生化できるよう調査研究を進めます。 実施については、大きな財源と全小中学校に影響を及ぼす事業であるため市長部局と協議し決定する必要があります。 【課題等への取り組み】 天然芝・人工芝を敷設するには、莫大な財源が伴うため、市長部局と芝生のメリット・デメリットや維持コスト等について共同で研究を行いました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性		○		
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
前年度に引き続き、芝生の敷設費用や維持コスト、メンテナンスについて研究を続けました。具体的な取組みについては、長期にわたる財源の確保などが必要であり、更なる研究が必要です。

今後の方向性	芝生の整備と維持にかかる財源を確保する方法を協議します。 効率的な維持管理の手法について、調査研究をすすめます。
Ｈ２３年度の課題	芝生化のモデル事業を採択し、実施校とともに調査研究を進めます。 芝生敷設後のランニングコストがかかるため、長期にわたる財源について調査する必要があります。

『評価委員の意見』
芝生の手入れは大変で、コストがかかるし、運動場芝生化は難しいのでは。
芝生化には多大な維持費がかかるので、市民が納得するメリットを立証し、慎重に検討すべきである。
維持管理は直営ではなく他に委託してはどうか。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　C　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	［２０］学校防犯体制整備事業（学校教育課：教務係） （予算：　　　４，７８８千円　決算：　　　４，７８８千円）
目　　的	児童生徒の安全管理のため、学校安全に関する取り組みの充実を図ります。
事業内容	学校支援員（警察ＯＢ）を配置し、警察等関係機関と連携して生徒指導上の支援を行っています。地域学校安全推進員（スクールガードリーダー）による校内の定期的な巡回や見守り、安全マップの作成、防犯メールの配信により、学校の安全体制の整備充実を図りました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 不審者対応及び通学路の安全確保等、学校・地域が一体となった防犯体制を整備していきます。 【課題等への取り組み】 スクールガードリーダーの増員、防犯メールの普及に努めました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
学校支援員、スクールガードリーダーの配置、防犯メールの全校実施により、学校防犯体制の整備は進んでいます。学校支援員と警察等関係機関との連携により、迅速な生徒指導対応ができました。
しかし、筑豊教育事務所管内での器物破損事案の発生や、不審者事案が後を絶たないため、防犯体制の更なる充実が必要です。

今後の方向性	生徒指導問題や不審者の増加など、防犯体制の更なる充実が必要であり、今後も引続き学校安全に関する取組を継続します。また、防犯メールの普及により、地域への防犯意識を深めていきます。
Ｈ２３年度の課題	防犯メールの登録者数が増加してきたが、まだ学校差があるので、各学校で保護者への啓発を行い、登録者数を増やしていく必要があります。

『評価委員の意見』
不審者看板の設置はよかった。
効果が上がっていることをうれしく思う。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（　Ｂ　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［２１］大隈城山校運営事業（教育総務課：庶務係）** **（予算：　　１２，６０６千円　決算：　　１０，６５３千円）**
目　　的	すべての生徒が安心して、学習に取り組めるように、校舎等の維持管理を行い、快適な教育環境の整備を図ります。
事業内容	・大隈城山校の施設整備及び維持管理（建築年度：昭和 61 年度） ・事務職員及び非常勤講師の雇用（生徒数：定数 120 人　在校生 81 人）
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 老朽化による施設の整備等が必要です。 【課題等への取り組み】 年次計画的に施設の整備を行いました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】
大隈城山校は、地域の高等教育機関の教育の場として大きな役割を果たしています。今後も老朽化した施設の整備を継続的に実施し、安心、安全な教育環境の維持に努めます。

今後の方向性	生徒が、快適な環境の中で落ち着いて学習に望めるように、安心、安全な教育環境の整備を実施します。
Ｈ２３年度の課題	年次計画的に老朽化した施設の整備を実施します。

『評価委員の意見』
大隈城山校は嘉麻市が管理する高等学校であり、なくしてはならないと思う。
大隈城山校の特色をもっとアピールすべきである。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（　A　）

事業名 （予算・決算）	**［２２］学校関係者評価事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　５３２千円　決算：　　３０５千円）
目　　的	教育活動等の成果の検証とその客観性・透明性の確保を通じて学校運営の改善と発展を目指します。
事業内容	保護者、地域住民等の連携強化のために学校関係者評価を全校で実施し、評価結果を公表しています。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 学校評価の計画的な実施と、適切な方法、時期での公表・報告。 【課題等への取り組み】 学校関係者評価を全校で実施しました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
すべての学校で学校関係者評価の実施･公表・報告が行われましたが、公表の方法や内容については更なる工夫が必要です。また、評価項目についても、各学校の重点施策に併せた絞込みが必要です。

今後の方向性	年度初めにおける学校経営方針等の保護者等への周知や、学校関係者評価の結果の公表について、ホームページを活用するなどの工夫が必要です。
Ｈ２３年度の課題	ＩＣＴ支援員の配置より整備された学校ＨＰでの学校評価の結果・改善策の公表を推進していく必要があります。

『評価委員の意見』
学校は頑張っていると思う。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

事業名 （予算・決算）	**［２３］学校ホームページ開設事業（教育総務課：教育企画係）** （予算：　　４８０千円　決算：　　４８０千円）
目　　的	学校関係者評価結果など様々な学校情報を公表し、開かれた学校運営を行うとともに学校ＩＣＴ化を進めるために全学校のホームページ（ＨＰ）を開設することです。
事業内容	嘉麻市内小中学校（全１７校）が、学校情報を公開し開かれた学校経営を行うための一つの手段として学校ＨＰを開設するにあたり、技術的又は経費的な支援を行います。 国の補助金により、ＩＣＴ支援員を４名雇用し、教職員のＩＣＴ能力のスキルアップを図りました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 ＨＰを開設・更新できるよう職員のスキルアップを図ることが必要です。 【課題等への取り組み】 ＩＣＴ支援員を雇用し､ＨＰの更新作業の補助やＨＰ活用研修等を行い職員のＩＣＴ能力スキルアップを支援しました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】
ＩＣＴ支援員の配置により、すべての学校にＨＰが開設され内容も充実されました。また、画像編集ソフト研修等、わかりやすいＨＰ作成のための研修も行われ、学校活動を掲載できるよう支援が行われました。

今後の方向性	ＩＣＴ支援員を平成２３年度まで雇用します。支援員よりＨＰ編集技術を習得し、学校活動をわかりやすく公開できるように教職員を支援します。
Ｈ２３年度の課題	ＩＣＴ支援員の助言なしに学校ＨＰを更新できるよう、教職員のスキルアップを図ることが課題です。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（　B　）

事業名 （予算・決算）	**［２４］小中一貫教育研究事業（学校教育課：教務係）** （予算：　個別予算なし　　決算：　　個別予算なし　　）
目　　的	研究開発校や構造改革特区における小中一貫教育の取り組みの成果を踏まえつつ、カリキュラム区分の弾力化など小中間の連携・接続を改善するための仕組みについて種々の観点に配慮しつつ十分に研究していきます。
事業内容	小中間の教職員の人事交流や共同研究を通して、小中連携を推進しています。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 小中連携・一貫に向けた管理職及び教職員の理解。 【課題等への取り組み】 小中連携・一貫に向けた各中学校区での取組の推進を図るようにしました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果			○	
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
人事交流や授業交流を通して、小中連携教育に取り組む予定でしたが、積極的な交流を行うことができませんでした。

今後の方向性	小中連携教育や小中一貫教育のあり方について嘉麻市教育委員会としての基本的な考え方や方策を取りまとめるため、検討委員会を設置し、基本方針や実施計画の作成を行います。
Ｈ２３年度の課題	小中連携・一貫教育に向けて、交換交流授業や９ヵ年間の教育課程編成を行うなど、より小中連携を充実させていく必要があります。

『評価委員の意見』
人事交流ができなかった原因を見極め、取組みを進めるべきである。
中一ギャップを解消できるよう取組みを進めるべきである。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　C　）

事業名 （予算・決算）	［２５］道徳教育推進事業（学校教育課：教務係） （予算：　　個別予算なし　　決算：　　個別予算なし　　）
目　　的	学校における道徳の時間の充実を図るとともに、家庭や地域社会との連携を図りながら、豊かな自然・社会体験を通して児童生徒の内面に根差した道徳性の育成を図ります。
事業内容	学校における道徳の時間の充実を図るとともに、家庭や地域社会との連携を図りました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 今の時代にふさわしい道徳教育を進めていってほしい。（前年評価委員意見） 道徳の授業の保護者への学習参観を実施する必要があります。 【課題等への取り組み】 道徳の学習の時間の授業参観を実施した学校が、小学校６校、中学校１校でした。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
道徳教育の副読本の整備状況の改善が十分でなく、児童生徒の発達の段階に即した適切な道徳教育の実施に差が見られます。
ほとんどの学校で、道徳の学習時間の公開授業が実施され、小学校６校、中学校１校において、保護者等への授業参観を実施しました。

今後の方向性	道徳教育の副読本の整備を促すとともに、新学習指導要領の完全実施に合わせて全校に整備していきます。
Ｈ２３年度の課題	新学習指導要領に即した道徳の学習の時間が、適切に実施、充実するように、指導・助言を繰返し行っていく必要があります。また、学習参観の機会を活用し、道徳の学習の時間を公開し、家庭と連携して「心の教育」を進めていく必要があります。

『評価委員の意見』
学校できちんとした道徳教育の指導を行うべきである。
道徳の学習時間が公開されたことは、良いことだと思う。
全小中学校で道徳教育の授業参観をすべきである。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｃ　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［２６］キャリア教育推進事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　個別予算なし　　決算：　　個別予算なし　　）
目　　的	家庭や地域と連携して、職業・職場体験活動等を行い、児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、望ましい勤労観、職業観を育てます。
事業内容	市内の中学校において、総合的な学習の時間の中で、職場体験を実施しました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 校区外や市外の事業所も多く、地域とのつながりが薄い状況があります。 【課題等への取り組み】 職場体験学習を市内すべての中学校で実施するとともに、市内での実施になるように指導・助言を行いました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
職場体験学習を３校が実施し、生徒の職業観や進路選択に向けた意識に変容がみられるなど、期待通りの効果が上がっています。一方、体験場所の校区内・市内での掘起しにはまだ検討の余地があり、地域とのつながりがまだ薄い状況です。

今後の方向性	生徒自らが体験場所を探し、交渉して実施するなど、自分の力で探究していく力を付けていくような学習になるようにしていきます。
Ｈ２３年度の課題	市内の全中学校において実施するとともに、できるだけ校区内・市内の協力事業所を開拓し、実施することで、地域と連携した活動にする必要があります。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｃ　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［２７］ボランティア活動推進事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　個別予算なし　　決算：　　個別予算なし　　）
目　　的	家庭や地域社会と連携して、児童生徒が他の人々や社会のために役立つとともに自分が価値のある存在であることを実感し、よりよく生きるための道徳的実践力の育成を図ります。
事業内容	市内全小中学校において、ボランティア活動を計画的に実施しました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 各学校のボランティア活動を地域社会とつながった活動にしていく必要があります。 【課題等への取り組み】 各学校のボランティア活動の様子を、家庭や地域に積極的に発信していくようにしました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
地域の清掃活動、河川清掃、赤十字活動等、各学校の特色を活かしたボランティア活動を実施しており、各学校においてボランティア活動が定着してきています。

今後の方向性	地域社会の活動と連動したボランティア活動の実施を推進していきます。
Ｈ２３年度の課題	各学校のボランティア活動の様子を学校ホームページや学校通信等で公表していくことで、地域や家庭の協力を得るなど、地域社会と連動した活動にしていく必要があります。

『評価委員の意見』
地域の人材を活用すべきである。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｂ　）

事業名 （予算・決算）	**［２８］学校保健事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　２２，８２５千円　決算：　　２１，４４６千円）
目　　的	家庭、地域及び関係機関等の連携・協力により、児童生徒及び教職員の心身両面にわたる健康管理の徹底を図ります。
事業内容	児童生徒、教職員の健康診断を実施。市内の小中学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置し、児童生徒の保健、安全に関する指導を行いました。 各学校において学校保健・安全に関する年間計画を作成し、適切に実施するよう指導助言を行いました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 未受診者への対応など､学校医との協力体制を確立していく必要があります。 【課題等への取り組み】 各学校において要治療者に対し、治療勧告を行うなど、健康管理を行いました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果	○			
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
学校保健安全法に定められた健康診断を実施し、市内の小中学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置しており、児童生徒、教職員の健康増進が図られています。

今後の方向性	法令により実施しているものであり、今後も引続き実施していきます。
Ｈ２３年度の課題	個人情報の点から、要治療者の経過については取扱に注意しつつ、各学校において充分な健康管理を行います。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（　A　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［２９］学校給食事業（学校教育課：学校給食係）** （予算：２２０，７２８千円　決算：２１０，７７５千円）
目　　的	学校給食を受ける児童生徒等が、安心・安全・確実な給食を食べられる。 また、児童生徒が食に関する正しい理解と、適切な判断力を養います。
事業内容	学校給食は、児童生徒の健康の増進、体位、体力の向上に資するとともに食事をとおして児童生徒に生きた知識や、望ましい生活態度を習得させる学習の場であり、嘉麻市内全小中学校において完全給食を行いました。 また、２１年度から学校給食運営審議会答申に基づき、給食費の統一を図り、年間給食回数１８５回を基準に実施し、１日平均３，７８１食の調理提供を行いました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 ○保護者の公平な給食費負担を目指し、収納率向上に努める。 ○地産地消を継続推進し、利用率の向上を目指したい。 【課題等への取り組み】 ○収納率向上への取組として、未納通知を５回発送（６月・８月・９月・１月・４月）し、呼出状を１回発送（１１月）し督促を行いました。また、悪質滞納世帯（３世帯）には、裁判所を通じて支払督促を実施しました。 ○地産地消の継続推進として､カッホー馬古屏や山田活性化センター等の地元直売所を活用し、地場産の利用率向上に努めました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
収納率向上への取組として、ハガキから封書による未納通知に変更したことや、呼出状を送付したこと等により、過年度滞納者から例年以上の反応がありました。高額滞納者に対しては、納付誓約書を提出させ、分割納付を実施しております。なお、現年度（H22）の収納率は 96.96%で前年度に比べ、0.52 ポイント上昇しました。
また、地産地消の推進に関しては、例年同様に地元直売所を通じ地場産の購入に勤め、地場産利用率はH21：12.39%からH22：15.87%へ向上しました。しかしながら、給食センター等の大量発注に対しては、直売所の対応が難しいことなどがあり、現状では、更に大幅な地場産利用率の向上は難しいと思われます。

今後の方向性	学校教育法第４条、義務教育諸学校の設置者の義務であり、これに基づく学校給食施設の維持管理及び給食の実施について、今後も必要です。 食育の充実を図り、併せて地産地消を推進します。
Ｈ２３年度の課題	保護者の公平な給食費負担を目指し、収納率向上に努めます。

『評価委員の意見』
児童手当（子ども手当て）を給食費に充てることはできないか。
給食費の徴収率が上がったことは良かった。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	［３０］青少年健全育成事業（生涯学習課：社会教育係） （予算：　　１，６１１千円　決算：　　１，４１３千円）
目　　的	青少年の健全育成のための啓発活動並びに関係機関との連携・協力を図り、青少年の非行防止に努めます。
事業内容	嘉麻市少年相談センターを設置し、関係機関と連携しながら少年並びに保護者等からの相談に対応しています。また、少年補導委員を委嘱し、年間延べ１５０回、巡回・街頭指導等を実施しました。 なお、活動は少年補導委員が組織する嘉麻市少年補導委員連絡協議会（４支部構成）で、旧自治体エリア毎行っています。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 平成２２年度福岡県警察本部所管警察署の再編に伴い、飯塚警察署所管の稲築地区警察補導員が嘉麻警察署に統合されました。市少年相談センターが委嘱する補導委員は２ケ年間（H22･H23）で、嘉麻警察署少年補導員と兼務するため今後、地域割の補導委員数等再検討する必要があります。 【課題等への取り組み】 次期委嘱に向け、嘉麻警察署生活安全課と補導委員の定数、地域割等協議を行っています。なお、平成２３年度からは、少年相談センター専門相談員を配置し、センター業務の拡充を図ります。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
青少年の健全育成と非行の未然防止には、補導委員の活動は不可欠です。現在、少年補導委員は社会教育関係団体である市青少年育成住民会議の組織にも協力的に加入し、青少年関係の各団体と共同し街頭指導等に取り組んでいます。

今後の方向性	今後とも嘉麻警察署等関係機関と連携を図りながら、補導委員（中堅層）の確保と少年相談センター業務の拡充を図っていきます。
Ｈ２３年度の課題	平成２４・２５年度に委嘱する少年補導委員の定数（中堅層の確保）、地区割り等を嘉麻警察署と引続き協議する必要があります。

『評価委員の意見』
少年相談センターについて周知すべきである。
補導委員だとわかるようにした方がよい。
若い補導員の登用をお願いしたい。

教育委員会評価	今回 （前回）	Ｂ （　Ｂ　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［３１］読書活動推進事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　１８，５１９千円　決算：　　１７，５２６千円）
目　　的	児童生徒の学習や読書意欲を高めるため、市立図書館や嘉麻市学校図書館協議会等との連携を図りながら、学校図書館の整備や図書司書機能の充実に努めるとともに、組織的、継続的な読書活動の推進に努めます。
事業内容	図書館の管理運営、図書教育の指導補助、図書の受け入れ、貸し出し業務、書架の整理、廃棄業務、教科用図書関係事務等を行うため、図書司書１３名を配置し、学校図書館の整備、充実を図っています。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 図書司書を増員しましたが、まだ未配置校があるため、各学校１名の図書司書配置を目指します。 【課題等への取り組み】 山田地区、嘉穂地区に１名の図書司書を増員しました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
朝読書や読み聞かせ等の読書活動を行なっていますが、図書司書の配置校と未配置校での学校図書館の整備状況・活用状況に差があるため、山田地区、嘉穂地区に１名の図書司書を増員しました。図書司書を増員することにより、学校図書館の整備状況や読書活動が不十分であった学校において、図書館の整備や読書活動の充実が図られました。

今後の方向性	すべての学校に図書司書を配置し、図書館教育担当教諭や司書教諭と連携しながら効率的・機能的な図書館運営を進められるようにします。
Ｈ２３年度の課題	全学校への図書司書の配置により、学校図書館の整備が進んでおり、各教科等において学校図書館を計画的に活用した教育活動を充実させていく必要があります。

『評価委員の意見』
山田地区、嘉穂地区、各１名の図書司書を増員できたことはよかった。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　C　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［３２］いじめ総合対策推進事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　３，９０８千円　決算：　　２，０５２千円）
目　　的	いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応に向け、スクールカウンセラーの配置や教育相談室の設置を行い、いじめ問題の解決を図ります。
事業内容	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの市費による配置や教育相談室の設置を行い、いじめ問題の解決を図っています。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 いじめの早期発見・早期対応についての繰返しの共通理解を深めます。 【課題等への取り組み】 定期的ないじめアンケートや相談週間の実施等、いじめの早期発見・早期対応を行いました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
いじめの認知件数は少ないですが、ほとんどの場合、認知時には早期発見・早期対応ができています。
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを市費で配置し、教育相談の充実を図ることにより、いじめ問題の解決を図りました。

今後の方向性	被害者の児童生徒の立場に立って、いじめの早期発見・早期対応に向けた組織的な取組を充実させていきます。
Ｈ２３年度の課題	認知されたいじめに対しては、早期対応が行われており、深刻化していませんが、早期発見・早期対応に向けた取組をより充実させていく必要があります。

『評価委員の意見』
いじめの早期発見に努力すべきである。
道徳教育で心を培うことが重要だと思う。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	［３３］不登校対策事業（学校教育課：教務係） （予算：　　３，８３５千円　決算：　　３，６０５千円）
目　　的	不登校児童・生徒の学校復帰または適応指導教室への通級を支援します。
事業内容	ひきこもり訪問指導員を１名増員し、学校復帰または適応指導教室への通級を支援しています。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 不登校者数が多い。（前年評価委員意見） 学校からの早めの派遣要請と、校内の教職員の体制作り。 小・中学校の接続の問題を解消すべく、小・中学校で交流授業を行うなど各中学校区における小・中学校の連携を強化します。 教育研究所を教育センターに改め､スクールカウンセラー等の専門知識を持った職員を配置することで、不登校対策を充実させます。 【課題等への取り組み】 教育センターに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、ひきこもり訪問指導員を配置することで、不登校対策を充実させました。
事務局自己評価	評価項目 / A / B / C / D 事業の必要性：A 事業の効果：C 事業の効率性：B 【自己評価の根拠】 学校からの要請のあった児童生徒に対しては、関係機関や適応指導教室と訪問指導員が連携しながら対応していますが、重度になってからの要請が多い傾向にあります。また、平成２１年度は１０５名、平成２２年度は１０９名と不登校児童・生徒数は増加傾向にあります。 しかし、小学校の不登校児童数は減少（平成２１年度２７名、平成２２年度２４名）しており、不登校対策の継続により、不登校児童生徒数は減少する見込みです。
今後の方向性	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、訪問指導員を配置・増員し、嘉麻市教育センター適応指導教室と連携しながら、不登校の解消･改善を図ります。また、小・中学校が連携し、中１ギャップを解消していきます。
Ｈ２３年度の課題	嘉麻市教育センター発行のパンフレット「新規の不登校児童生徒を生まないために」に沿った対応を、すべての学校・教職員で行うようにする必要があります。また､スクールカウンセラー､スクールソーシャルワーカー､訪問指導員を積極的に活用し、未然防止と解消・改善を促す必要があります。
『評価委員の意見』 不登校の児童生徒が卒業できるよう、取組みを進めるべきである。	

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　C　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［３４］学社連携・融合事業（学校教育課、生涯学習課）** （予算：　個別予算なし　　決算：　個別予算なし　　）
目　　的	郷土を愛する豊かな心を育てるために、郷土を知り、住民とのふれあいに努め、地域の教育力を活用するとともに学校教育との連携を図り、地域全体で子どもを育てることです。
事業内容	学校に学・社連携の担当者をおき、学校教育・社会教育の相互連携を図っています。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 学社連携した実践の更なる充実を目指します。 【課題等への取り組み】 学校教育課と生涯学習課で協議を行い、各学校から学社連携融合担当者を選任し、校務分掌に位置付け、組織化を図りました。 学社連携融合が円滑に進捗するため合同会議を開催、各学校に生涯学習課各係事業の周知を行いました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
学社連携の担当者を校務分掌に位置付け、組織化を進めて、学校教育と社会教育の相互連携を図っています。しかし、学校間での取組に差はあるものの、どの学校もボランティア人材バンク等の生涯学習課の各係事業を活用したり、学校の教育活動を支援する市民のボランティア組織「学校応援したい」を設置したり、教育活動、安全対策、環境整備等のボランティアによる支援を行っています。
学社連携融合の手はじめとして、合同会議が２回（８月・３月）開催できたことは一歩前進する成果と考えます。

今後の方向性	学社連携融合に対する学校の考え方に差があるため講師を招き、学社連携融合研修会を開催していきます。また、合同会議も計画的に開催し、各学校における体験活動等におけるボランティアの活用など、学社連携した実践を展開していきます。
Ｈ２３年度の課題	本事業に対し、学校との間で認識の違いがあるため引き続き研修会並びに合同会議を開催し、考え方・方向性を合わせ、学校行事や生活科・総合的な学習の時間等において、人材バンクや生涯学習施設等を活用して学習を計画的に行う必要があります。

『評価委員の意見』今後が期待される事業である。
学校と社会教育の考え方がなじまないのではないか。
学校内に学社連携の担当者を置くなど、組織化したことはすばらしい。
地域の豊富な人材を学校側にも知ってもらい、授業の中に人材バンクを活用した社会教育の事業を取り入れるべきである。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［３５］地域教育資源活用事業（学校教育課：教務係）** （予算：　　９６７千円　決算：　　９６７千円）
目　　的	学習指導要領の趣旨を踏まえ、各学校の創意を生かした教育課程を編成し、地域社会の現状を踏まえ、児童生徒の学習に協力することのできる地域の人材や施設を生かし、教育活動を行います。
事業内容	専門的な知識や経験を持っている人から話を聞いたり、技術を見せもらったりする体験は、子どもたちの学びを深める上で、たいへん効果的であり、地域の人材を外部講師として招き、農業体験や物づくり指導を推進します。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 小学校においては、更なる活動の充実。 中学校においては、適切な総合的な学習の時間の年間指導計画の作成。 【課題等への取り組み】 人材バンクの積極的な活用を啓発しました。
事務局自己評価	評価項目 / A / B / C / D 事業の必要性 / ○ / / / 事業の効果 / / ○ / / 事業の効率性 / / ○ / / 【自己評価の根拠】 小学校においては、各学校の特色にあわせてゲストティーチャー等の地域教育資源を活用した学習が行われています。中学校での教育資源の活用については、今後の課題となっています。
今後の方向性	新学習指導要領の趣旨に沿った総合的な学習の時間の年間指導計画の作成・実施をしていきます。
Ｈ２３年度の課題	地域の「ひと・もの・こと」を積極的に活用し、各学校の特色ある教育活動を行う必要があります。

『評価委員の意見』
事業としてのアイディアは良いと思う。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｂ　）

事業名 （予算・決算）	**［３６］地域における家庭教育支援基盤形成事業** **（生涯学習課：社会教育係）** （予算：　　１６３千円　決算：　　１６３千円）
目　　的	家庭と関係機関の連携を図り、健全育成に努めるとともに、発達段階に合せた諸問題解決のための講座等を実施し、家庭の教育力の向上を図ります。
事業内容	タッチケア体験・連続講座（対象：０歳児・未就学児とその保護者）、「完璧な親なんていないプログラム」ＮＰ体験版３種講座（対象：未就学児の保護者）を実施し、子育て支援センター、保育園（所）、子育てサークル、母子生活支援施設、児童擁護施設等へ家庭教育支援チームの派遣を行いました。　*タッチケア事業等の参加者：４１組、延べ２３４人
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 同類の事業を実施している関係機関と情報を交換し、さらに効果的な取り組みと連携事業が実施できるよう協議体制を強化する必要があり、事業の周知方法では、回覧、広報誌の掲載だけではなく更なる工夫が必要と考えます。 【課題等への取り組み】 社会福祉協議会､筑豊助産師ネット等関係団体と担当者レベルではありますが連絡会を立ち上げました。また事業の周知では、関係機関紙を活用するなど関係団体と連携を図っています。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】
前年度の課題解決のため、社会福祉協議会等々と事業の開催時期や内容について担当者同士で話し合い、相互の事業が適当であるかどうかなど協議ができ、各種の事業内容に反映できました。

今後の方向性	引き続き子育て支援事業の実施と未就学児から思春期の子どもを持つ保護者に対し、家庭教育全般の支援事業の展開を図っていきます。
Ｈ２３年度の課題	子育て家庭の孤立防止のため地域への意識啓発とその支援体制の整備が必要です。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（　A　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［３７］社会教育関係団体等育成事業（生涯学習課：社会教育係）** （予算：　　４，６１０千円　決算：　　４，６１０千円）
目　　的	社会教育関係団体等の育成とその活動の充実に努めるため、各社会教育関係団体等の自立支援及び人材（指導者）の育成を行います。
事業内容	行政協力を目的に設立された社会教育関係団体をはじめ、各種の関係団体が自主的な会の運営や事業展開が図れるよう指導助言等支援を行っています。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 主体的な組織運営が確立されておらず､団体の活動等もまだまだ市民に浸透していません。 【課題等への取り組み】 団体の取り組み、事業結果を広報、マスコミに取り上げてもらうなど活動の周知に努めました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
各団体に統一した支援内容で対応しましたが、各団体の振興度合いに温度差があり、自主的な運営にも差がありました。しかしながら、前年度より確実に組織体制が強化され、主体的に会の運営、事業の展開が図られています。

今後の方向性	特に行政協力目的の団体（市青少年育成住民会議・市子ども会指導者連合会・市ＰＴＡ連合会・市文化協会）を筆頭に市民と協同のまちづくりの実現に向け、今後も社会教育関係団体の自主的運営が確立できるよう支援と連携強化に努めます。
Ｈ２３年度の課題	社会教育関係団体への加入促進のための活動が必要です。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｂ　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［３８］指導者の養成及び各団体の育成、活性化事業** **（生涯学習課：社会教育係）** （予算：　　８，４３０千円　決算：　　８，１２４千円）
目　　的	市民が自主的に活動でき、生涯学習の推進や住民主体の地域づくりを促進に努めます。
事業内容	団体の申請に基づき、稲築吹奏楽団、市青少年育成住民会議、憶良まつり短歌会、いなつき山笠実行委員会、民俗的伝統行事保存団体３団体（碓井地区：飯田地蔵祭り、西郷奉納すもう、上臼井神楽まつり）、市子ども会指導者連合会、嘉麻市文化協会、市ＰＴＡ連合会、嘉麻・桂川少年の船の１１団体に補助金を交付します。また、各団体の指導者等を対象とした人材養成研修会を開催し、資質の向上を図ります。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 嘉麻市補助金交付基準に沿った補助金交付基準要綱を策定する必要があります。また、社会教育関係団体指導者の養成が必要です。 【課題等への取り組み】 平成２３年度から適用の社会教育関係団体事業補助金交付要綱を策定しました。また団体指導者養成では、各種の研修会を開催し外部研修への参加を奨励しました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
平成２３年４月１日施行の嘉麻市社会教育関係団体事業補助金交付要綱を策定し、適正な補助金交付の要件等を設定することができました。
また市青少年育成住民会議、市子ども会指導者連合会、市ＰＴＡ連合会、市文化協会については、指導者の養成も兼ねた会員研修会（市民参加型）を開催するなど、意欲的な事業の展開が図れています。

今後の方向性	社会教育関係団体の活動状況、組織の運営を注視し、的確な指導助言ができよう努めます。また必要に応じ、補助金交付要綱の改正を行ってまいります。
Ｈ２３年度の課題	団体指導者の養成が必要です。各団体とも役員・理事の年齢層が上がり、世代交代ができない状況が見受けられます。

『評価委員の意見』
少子化の為、祭り等の事業がなくなりつつあるので、指導者の育成や、市民の方が申請しやすい取組を進めるべきである。
補助金交付基準を市報に載せて市民全体に広め、地域の伝統行事の保存や支援を地域だけでなく嘉麻市全体で盛り上げていくべきである。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　C　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［３９］ボランティア事業（生涯学習課：社会教育係）** （予算：　　１９千円　決算：　　１９千円）
目　　的	知識、技能、資格等を有する人に人材バンクに登録してもらい、生涯学習活動支援や地域づくりに貢献いただきます。
事業内容	市民の生涯学習活動を支援するために、仕事や趣味などを通じて身につけた知識・技術・資格等を有する人に名簿登録してもらい、学校や地域のあらゆる活動場面で、その培った経験、技術等を活かし地域に還元する「知の循環型社会」の構築を目的としています。なお、社会教育係に配置されている地域活動指導員が人材の発掘、ボランティア活用依頼先とのコーディネートを行っています。また、ボランティア登録者を対象とした資質向上のため研修会を開催しています。 *平成２２年度実績：人材登録３１４名（個人）・１０５団体、派遣回数９９回
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 ボランティア登録者の高齢化が進んでいます。新たな人材の発掘、確保が課題です。登録者の保有資格をあらいだし、学校の要請に応えられるよう登録者要件を整理する必要があります。 【課題等への取り組み】 地域活動指導員が社会教育関係団体等へ出向き、新たな人材の発掘に努めました。また、学校等の要望に適切に応えるため人材バンク設置要綱を改正、登録者更新期間の変更や保有資格を整理しました。
事務局自己評価	評価項目 / A / B / C / D 事業の必要性 / ○ / / / 事業の効果 / ○ / / / 事業の効率性 / ○ / / / 【自己評価の根拠】 平成２２年６月１日人材バンク設置要綱を改正し、登録者の更新期間の短縮や保有資格の明確化など、人材バンクを活用する学校、地域団体がより利用しやすい内容に更新しました。
今後の方向性	「知の循環型社会の構築」の確立を目指し、今後とも登録者の確保に努め、派遣の意義を活用側にもしっかりと伝え、本事業が実のあるものになるよう努めてまいります。
Ｈ２３年度の課題	現在、登録者の大半が高齢者であり、若年層への周知と新たな人材の発掘が必要です。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（　A　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［４０］公民館・分館等の連携強化推進事業** **（生涯学習課：中央公民館係）** （予算：　２０，７４４千円　決算：　１９，１１０千円）
目　的	各地区公民館の利用者が安心して気持ちよく学習等が行われるよう、また、地域の拠点として機能するよう、現行通り施設の維持管理を行います。
事業内容	各地区公民館の施設管理費の支出、施設の使用申請受付・許可、備品等の貸し出し事務及び、嘉麻市の公民館運営に関して公民館運営審議会の開催を行います。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 経年劣化により補修等必要な施設について､地元と協議を行い施設の年次改修計画を策定し、地域の活性化を図る必要があります。 【課題等への取り組み】 H22 年度下山田分館の改修を行いました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
地域コミュニティの核である公民館は、行政と住民とのふれあいの場であり、様々な支援を行いながら住民の生涯学習や諸活動を支えることは、将来の人づくり、協働のまちづくりには必要であります。
このことから、安心して利用できるよう施設の改修については、緊急性のあるものは随時工事を行っていき、大規模改修については、他の施設と調整を行い実施に向け検討します。

今後の方向性	公民館は生涯学習の拠点施設としての役割があり、現行どおりの運営を継続します。
Ｈ２３年度の課題	安心して利用できる施設とするため、耐震診断を行い、改修計画をたて地域の活性化を図る必要があります。

『評価委員の意見』
稲築公民館が老朽化しているので改修すべきである。
碓井地区には公民館がないが、拠点がなくて活動できるのか。
公民館活動とボランティア活動には関係があると思う。
活動の見直しと支援が必要である。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

事業名 （予算・決算）	**［４１］分館及び自治公民館等活動費補助金事業** **（生涯学習課：中央公民館係）** （予算：　　９，０３３千円　決算：　　８，７１９千円）
目　　的	分館及び自治公民館への各種補助を行い地域コミュニティの拠点づくりを図ります。
事業内容	分館運営費補助、自治公民館災害保険補助、自治公民館修繕料補助、自治公民館活動費補助、自治公民館付属施設設置補助を交付します。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 運営に関して、分館・自治公民館としての役割や機能について、統一認識を持って事業展開を行い地域の活性化を図ります。 【課題等への取り組み】 補助金算出に統一した基準を設け、補助金交付を行います。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
地域コミュニティの醸成は、地域住民の参加なしには考えられず、その活動の拠点づくりのためには、支援は必要であると考えます。
しかし、各種補助を行い、各地域が公民館活動に取り組まれているが、地域により活動に差異があります。その是正について来年度改善していきます。

今後の方向性	公民館は生涯学習の拠点施設としての役割があり、運営を継続します。公民館・分館としての役割や機能について、再認識するとともに、組織強化を図り、後継者育成や地域活性化につなげていきます。
Ｈ２３年度の課題	運営に関して、分館・自治公民館としての役割や機能について、統一認識を持って事業展開を行い地域の活性化を図ります。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｂ　）

事業名 （予算・決算）	**［４２］生涯学習推進事業（生涯学習課：社会教育係）** （予算：　　５５，７７１千円　決算：　　５５，７７１千円）
目　　的	職員ならびに地域活動指導員の資質向上や市民ニーズを活かし、生涯学習の推進を図るとともに生涯学習施設を運営（維持管理）します。
事業内容	社会教育委員会議及び課内会議等の開催。職員、地域活動指導員の研修会や社会教育主事の養成など関係職員の資質向上に努め、また所管施設の管理として、なつき文化ホール・嘉穂生涯学習センター夢サイトかほ・上山田住民ホール・山田市民センター・下山田小学校白馬ホール・山田生涯学習館の運営を行います。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 関係職員等の資質向上の取組み並びに施設の統廃合･廃止の検討協議と老朽施設の補修 【課題等への取り組み】 関係職員を対象とした独自研修会を４回実施したほか各種の研修会の受講等、資質の向上に努めました。また、社会教育主事講習に公民館職員を受講させ専門性も高めています。 施設の統廃合・廃止については、生涯学習課の考えとして市民の生涯学習推進と活動、成果の発表の場であることから存続の方向で取り組んでいます。また老朽施設についても計画的に設備の整備を行っています。 （*社会教育主事講習=県社会教育総合センター・九州大学等に3週間（宿泊）の日程で研修を受講し、社会教育法による社会教育主事の資格を取得します。）

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
関係職員の資質の向上に関する研修会等は計画どおりに実施しました。また、施設についても市民の立場で整備に努めました。

今後の方向性	継続して関係職員の資質の向上に努めます。所管施設についても市民が活発に生涯学習を展開できるよう努めてまいります。また生涯学習課の方向性を明確にするため、教育アクションプランと連動した生涯学習振興計画策定に着手し、各係事業の調整を行います。
Ｈ２３年度の課題	生涯学習振興計画策定に向けた各係事業の調整と耐震診断など施設整備の計画が必要です。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｃ　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［４３］青少年の体験活動推進事業（生涯学習課：社会教育係）** （予算：　　３０９千円　　決算：２００千円）
目　　的	子どもたちの自主的・自発的な初体験活動を推進するとともに表現力の向上を図ります。
事業内容	社会教育関係団体が主催で行う生活体験[通学合宿]事業（山田・稲築・碓井の３地区）や中学生の主張大会（市内５中学校２名づつの１０名）の共催並びに社会教育主催事業としてわたしのエッセイ（約７００作品）を開催しています。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 各事業に付加価値をつけ、質の向上を図ります。 【課題等への取り組み】 前年度の課題を検証し、各事業とも事業内容の創意工夫に取り組みました。
事務局自己評価	評価項目 / A / B / C / D 事業の必要性 / ○ 事業の効果 / ○ 事業の効率性 / ○ 【自己評価の根拠】 各事業の展開に必要不可欠な地域協力（企業、商店等）の体制が整い、また子どもたちの体験活動（健全育成）に対する理解が浸透し、地域の教育力の向上にも貢献できました。
今後の方向性	今後とも本事業は推進していきます。ただし、主催する社会教育関係団体と社会情勢の動向やこの分野で今後、効果が見込まれる事業等を協議検討しながらより効果的に事業が展開できるよう努めてまいります。
Ｈ２３年度の課題	事業を主催している社会教育関係団体の人材不足が課題です。地域へ事業への参画を依頼し、人材の確保を強化いたします。

『評価委員の意見』
エッセイの開催や表彰はすばらしいことである。
自然環境の面から桑野分校を活用する方法を検討すべきである。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［４４］コミュニティ活動支援事業（生涯学習課：中央公民館係）** （予算：　　３２千円　決算：　　３１千円）
目　　的	地域と公民館の「協働」による公民館運営の視点から関係団体や公民館を支える人たちと、公民館の新たな可能性を模索し、これからの公民館づくりを目指すネットワークの構築を図ります
事業内容	公民館関係者及び職員の研修会を開催し資質向上を図ります。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 コミュニティ支援のための計画書の作成及び､ネットワークの構築を図ります。 【課題等への取り組み】 公民館関係者及び職員の研修会の開催。 嘉穂地区４分館で行われているひろば事業（みやのわくわくひろば、千手ふれあいじゅく、くまっこひろば）の支援を行った。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
地域コミュニティの活性化に繋がるように、地域のリーダーとなる人材の育成を目的として、公民館関係職員の研修会は必要であると考えます。
コミュニティ活動では、嘉穂地区３分館で行われている「ひろば事業」等を行ったことで、地域の繋がりは出来ていると思います。また、足白地区には「ひろば事業」がなかったが､H23 年度からの実施に向け準備中です。

今後の方向性	地域ぐるみで青少年の健全育成に努めるとともに、地域の大人も子どもと関わることで互いに繋がりを強め地域力の向上を図ります。
Ｈ２３年度の課題	地域・学校・行政の協働での事業（学社連携融合事業）の推進や、子どもと地域の世代間交流事業の推進を行っていきます。

『評価委員の意見』
昔行われていた活動を復活できるよう支援すべきである。
アンビシャス広場のような活動を広げるべきである。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［４５］公民館等事業（生涯学習課：中央公民館係）** （予算：　　３，１０５千円　決算：　　２，７９９千円）
目　　的	住民相互の交流と教養の向上、健康増進を図り生きがいづくりを行います。
事業内容	中央公民館　　：公民館講座、成人式、公民館関係者研修会等 嘉穂地区公民館：料理教室、盆踊り講習会 碓井地区公民館：絵手紙教室・こども講座等 山田地区公民館：山田サルビア大学、４地区分館婦人学級　等 稲築地区公民館：エコリサイクル教室・そろばん教室・盆踊り教室等
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 公民館利用者の拡大、講座内容の拡充を図ります。 【課題等への取り組み】 嘉穂地区では「夏休みときめき学習」を開催し、分館の利用拡大を図りました。 料理教室を平日の夜間に開催し、「絵手紙講座」では初歩から気軽に学べる環境づくりを行い参加者の拡大を図りました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
「すべての国民に、自らの実際生活に即する文化的教養を高めるような環境づくりに努めなければならない」を基本と考え、開催時間等を考慮し、参加しやすい状況をつくり利用者の拡大に取り組みました。

今後の方向性	講座を通しての行政と住民とのふれあい、生涯学習の推進（住民主体での人づくり、まちづくりを展開）と他の分野と連携した事業を推進します。
Ｈ２３年度の課題	公民館利用者の拡大、講座内容の拡充を図ります。

『評価委員の意見』
公民館は高齢者が使用するイメージがあり、参加者が固定化しているのは問題である。
もっと公民館行事を活性化するため、地域と公民館の橋渡しをしてもらいたい。
すばらしい活動でＡ評価だと思う。
公民館講座をもっと周知すべきである。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

事業名 （予算・決算）	**［４６］子どもの体力・運動能力向上事業** **（生涯学習課：スポーツ振興係）** （予算：　　２，２４４千円　決算：　　１，９７２千円）
目　　的	市内の幼児、児童の体力・運動能力を向上させることを目的としています。
事業内容	幼児、児童を対象とした教室等を開催しました。 市内保育所への出前運動教室（試験的）を実施しました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 モデル事業を実施するとともに、体力テストなどを実施しその効果を検証する必要があります。 【課題等への取り組み】 多くの子どもたちの運動能力向上の事業展開にむけて効果を検証するため鴨生、山野、碓井保育所で出前運動教室を実施しました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性			○	

【自己評価の根拠】
子どもの体力・運動能力の低下は全国的な問題となっており向上に向けての取り組みを行う必要性は非常に高いと考えられます。また、教室や一部の市立保育所と連携して行った出前運動教室等では、「子どもが積極的に体を動かすようになった」などの声もあり、十分な効果があると判断できます。スポーツ指導者、体育指導委員、保育士、教員等がスキルアップすることでより効果的に実施できると考えています。

今後の方向性	一般の教室については継続していくとともに充実を図っていきます。市立保育所の出前運動教室については、一定の効果も得られていることから全ての市立保育所へ拡大して実施していきます。また、研修等を実施しスポーツ指導者、保育士、教員の指導力向上を図っていきます。
Ｈ２３年度の課題	教室を通して子どもたちに色々な変化が出ており、効果が上がっていることからも、出前運動教室を全市立保育所に拡大するなど多くの子ども達が運動の楽しさを体験できるよう事業を実施していく必要があります。

『評価委員の意見』
（青年期の能力向上には乳幼児期のハイハイや寝返りが大事であるという説明に対して）乳幼児を持つ母親達への啓発はしているのか。母子手帳交付時や、母親学級の際に啓発したらよいと思う。
０歳児教室へも指導が必要ではないか。事業の充実すべきである。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｂ　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［４７］スポーツ提供事業（生涯学習課課：スポーツ振興係）** （予算：　　９４千円　決算：　　７２千円）
目　　的	スポーツ人口の増加と市民の健康増進を図ることを目的としています。
事業内容	教室等を開催するとともに、スポーツ団体一覧を作成し市内スポーツの情報提供をしました。 ※教室：太極拳教室、カヌー教室、目的別シェイプアップ教室、健康運動教室、体力テスト（このほかに体育協会専門部による教室等があります。）
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 市民のニーズをどのように捉えるかが課題となります。教室終了後の振り返りを行いながらニーズの把握と新たなニーズを創造する方法について検討していく必要があります。 【課題等への取り組み】 ニーズを把握するために教室参加者にアンケートを実施しました。また、情報提供を目的として「嘉麻市スポーツ団体一覧」を作成・配布しました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
市民がスポーツに親しむ機会を提供することは体力向上・健康維持の観点からも必要であると考えます。教室実施後にサークルが設立していることからも、市民が自主的に運動に親しむうえで効果があったと考えられます。体育指導委員、地域活動指導員を活用し教室等を行うことで、予算面においても効率よく実施できています。

今後の方向性	市民ニーズに応えられるような教室を実施してくとともに、自分に応じた教室を参加者が選択できるように事業展開していきます。
Ｈ２３年度の課題	引き続き教室の参加者、特に参加割合が少ない男性の増加を図っていく必要があります。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［４８］スポーツを支える人づくり事業** **（生涯学習課課：スポーツ振興係）** （予算：　　１５０千円　決算：　　１５０千円）
目　　的	スポーツ指導者の指導力向上を図ることを目的としています。
事業内容	大学教授を講師に迎えてスポーツ指導者、体育指導委員、保育所（園）、幼稚園、教員を対象とした研修会を実施しました。 ※このほか体育協会により研修、審判講習会等が実施されています。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 学校、ＰＴＡ、体育協会、体育指導委員等と協議しながら連携した取り組みを行う必要があります。 【課題等への取り組み】 学校、保育所（園）、幼稚園、体育指導委員と連携して研修を行いました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性			○	

【自己評価の根拠】
日々進化していく運動指導において最新の情報を共有していくことは非常に重要なことであると考えます。また、参加者アンケートから新たな知識が増えたなどの声も聞かれたことからも一定の効果があったと判断できます。しかし、平成２２年度は他の事業と日程が重複したため調整の必要があることから効率性にしては低かったと判断しています。

今後の方向性	スポーツ指導者が現場で活用できる内容で継続的に実施していきます。
Ｈ２３年度の課題	講師、その他の事業との調整を行いより多くの人が参加できるように実施する必要があります。

『評価委員の意見』
スポーツ指導者の指導力向上に努めるべきである。
講習会の周知、指導力向上、啓発を行うべきである。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［４９］体育施設管理運営事業（生涯学習課課：スポーツ振興係）** （予算：　２９５，６１５千円　決算：　２８７，５５５千円）
目　　的	自主運動の場を提供し、市民の健康増進を図ることを目的としています。
事業内容	社会体育施設の管理・運営・整備を行いました。（２８施設） 国の交付金を受けて、陸上競技場とサルビアパークの改修を行いました。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 施設の統廃合、廃止について検討していく必要があります。 【課題等への取り組み】 施設の統廃合、廃止について検討を行いました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性			○	

【自己評価の根拠】
市民が身近にスポーツに親しむことが出来るように施設を整備することは必要なことであると考えます。市民のスポーツ活動の場として利用されていることからも効果はあると考えられます。受付等に関して受付台帳の一括管理が出来ない状況にあり、受付を各地区の拠点施設で行わなければならないため効率はよくないと考えます。

今後の方向性	利用者の利便性の向上を図るために、必要性、緊急性を考慮して年次的に改修と利活用の改善を行っていきます。
Ｈ２３年度の課題	住民のニーズを捉えて既存スポーツ施設の改善を図り、耐震診断を行っていく必要があります。また、利用率の低い施設の稼働率を上げていく必要があります。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　C　）

事業名 （予算・決算）	**［５０］総合型地域スポーツクラブ支援事業** **（生涯学習課課：スポーツ振興係）** （予算：　個別予算なし　　決算：　個別予算なし　　）
目　　的	市民のだれもが身近な場所で運動に親しむことが出来る、総合型地域スポーツクラブを支援育成することを目的としています。
事業内容	総合型地域スポーツクラブへの用具貸出等の支援 補助金等の紹介 教育事務所との連絡・調整
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 総合型地域スポーツクラブ設立に向けたニーズの把握とニーズの創造を行っていく必要があります。 【課題等への取り組み】 教室実施の際アンケート調査を行っています。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
市民が自主的にスポーツ活動を行える環境を整備することは必要なことだと考えます。既存の総合型地域スポーツクラブは自主的に運営・活動を行っており一定の効果はあるものと判断できます。効率については各総合型地域スポーツクラブが自主的に活動をしており効率は高いと考えられます。

今後の方向性	引き続き既存総合型地域スポーツクラブの支援を行っていくとともに、新規総合型地域スポーツクラブ設立に向けた取り組みを行っていきます。
Ｈ２３年度の課題	引き続き総合型地域スポーツクラブ設立に向けたニーズの把握とニーズの創造を行っていく必要があります。

『評価委員の意見』
市全体に総合型スポーツクラブがあることを知ってもらう必要がある。
総合体育館等にポスターの掲示をするとよいのではないか。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　C　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［５１］スポーツ団体支援事業（生涯学習課課：スポーツ振興係）** （予算：　　６，７４８千円　決算：　　５，３５６千円）
目　　的	各種大会、団体を補助することでスポーツの振興を図ることを目的としています。
事業内容	各種大会への補助金の支出と運営の補助を行うとともに、自主運営を行う体育協会への補助金の支出を行っています。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 体育協会指導者の育成を図ってもらうとともにスポーツ人口の増加を図ってもらうよう協議していく必要があります。 【課題等への取り組み】 体育協会と協力して研修を行いました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
市民が自主的に行うスポーツ活動を助長するうえでも必要性は高いと考えられます。実施されている大会には県内各地や県外からも参加者があり、交流人口の増加という点からも効果は高いと考えられます。また、体育協会関連事務、市民総合体育大会の運営、県民体育大会に関する事務を体育協会内で処理するため、事務効率性は高いと考えます。

今後の方向性	継続して実施していくとともに、より活気のある団体となるよう指導助言を行っていく。
Ｈ２３年度の課題	引き続き､体育協会指導者の育成を図ってもらうとともにさらなるスポーツ人口の増加を図ってもらうよう協議していく必要があります。

『評価委員の意見』
市の発展のためにも、存続してほしい。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｂ　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

<table>
<tr><td>事業名
（予算・決算）</td><td colspan="5">［５２］人権教育推進事業（学校教育課：教務係）
（予算：　　個別予算なし　　決算：　個別予算なし　　）</td></tr>
<tr><td>目　　的</td><td colspan="5">福岡県人権教育・啓発基本指針及び嘉麻市人権教育・啓発基本指針に基づき、学校教育活動全体を通して、児童生徒が共生の心を身につけるとともに、自分らしさや能力を十分に発揮し、人権問題を主体的に解決していく力を身につけることができるよう指導していきます。</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td colspan="5">学校における人権教育の時間の充実を図ります。</td></tr>
<tr><td>Ｈ２２年度の課題と取り組み</td><td colspan="5">【課題等】
各学校における道徳の学習の時間の充実が必要です。
【課題等への取り組み】
学校の教育活動全体を通して、人権教育を適切に実施しましたが、自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践行動まで高めることができませんでした。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">事務局自己評価</td><td>評価項目</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr>
<tr><td>事業の必要性</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>事業の効果</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>事業の効率性</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">【自己評価の根拠】
道徳の学習時間の充実をはじめとし、あらゆる教育活動を通じて、人権感覚の定着の取組を行いました。その結果、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることについては、理解できるようになりましたが、様々な状況下で、児童生徒が自分で「感じ、考え、行動する」主体的・実践的な行動にまで高めることができませんでした。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td colspan="5">学校でも、人権感覚を身に付けさせる取組を推進していきますが、単なる知識に止まらず、より児童生徒に主体的な学習を可能にするために家庭・地域・関係機関の人々をはじめ多くの人々と連携をとり、児童生徒の発達の段階に応じた系統的な取組を推進していきます。</td></tr>
<tr><td>Ｈ２３年度の課題</td><td colspan="5">人権意識等を育み、人権課題の解決に向けた、実践力へとつなげていくために、人権に関する知的理解に加え、人権感覚を養うことが重要です。人権感覚は、言葉だけで教えることでなく、児童生徒が自ら主体的に、しかも学級の他の児童生徒たちとともに学習活動に参加し、協力的に活動し、体験することをとおす学習方法を推進していきます。また、家庭・地域・関係機関の人々をはじめ多くの人々と連携をとり人権教育の推進を図っていきます。</td></tr>
<tr><td colspan="6">『評価委員の意見』
評価委員の意見はありませんでした。</td></tr>
</table>

教育委員会評価	今回	C
	（前回）	（　B　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	［５３］人権学習推進事業（生涯学習課：人権教育係） （予算：　２，４１４千円　決算：　２，３０８千円）
目　的	同和問題をはじめ女性、子ども、高齢者、障がい者、アイヌの人々、外国人、ＨＩＶ感染者など、人権尊重の社会の実現に向け、嘉麻市人権教育・啓発基本方針に基づき、社会教育における人権・同和教育を一層推進するために、市内の各種団体等の協力を得ながら、行政区単位地域研修会、団体・サークル等研修会、企業内人権・同和問題研修会を実施し、また、関係行政機関及び地域活動指導員（人権・同和教育指導員）との連携を行い、社会教育における人権に関する学習の推進に努めることです。
事業内容	嘉麻市の人権・同和教育の推進を図るため、嘉麻市同和教育研究協議会活動の活性化、行政区単位人権・同和問題地域研修会の開催、団体・サークル等人権・同和問題研修会の開催、企業内人権・同和問題研修会の開催を推進し、人権・同和問題に関する意識の向上を図ります。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 企業内・各種団体及び行政区等において、人権研修会の開催 【課題等への取り組み】 企業内・各種団体及び行政区等において、人権研修会の開催をしていただくよう案内文書を送付し、１件でも多く開催されるようにお願いしましたが、各地区行政区において開催していますが、開催地区が少ない状況です。 また、企業・各種団体等においても案内を行っていますが、研修会の開催があまり出来ていない状況です。
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 人権教育・啓発の役割は、行政が取り組む人権施策の普及はもちろん地域住民の理解協力を如何に得るのかが大切です。 そのためには、市民一人ひとりが、人権問題について正しい認識と理解を深め、「差別をしない」から「差別をさせない」の意識が日常生活のなかでの行動等に確実に根付くような啓発を目指すことにより、住民の人権意識の向上が期待できます。企業・団体・サークル等個別的な研修会は、多く開催できていないが、山田地区におけるケーブルテレビ放映による啓発等は成果につながっていると思います。
今後の方向性	地域・企業・各団体における人権が守られ、お互いが尊重しあい、差別のない社会の構築に向けた取り組みを推進し、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題に係る啓発事業の一環として実施し、市民の人権意識高揚を図りたいと思います。
Ｈ２３年度の課題	企業内人権研修が進まない現状で、人権・同和教育としては、啓発との連携で企業に案内をしていくとともに個別にお願いする必要があります。

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果			○	
事業の効率性			○	

『評価委員の意見』人権同和対策課ともっと連携して事業を行った方がよい。
アンケート調査の分析や集約ができているのか。
職員が目的意識を持って事業を実践し、組織確立に努めるべきである。
一定の評価をみたというものの、まだまだ啓発事業が必要である。

教育委員会評価	今回	C
	（前回）	（　C　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［５４］解放学級育成事業（生涯学習課：人権教育係）** （予算：　９，９６６千円　　決算：　９，３４６千円）
目　　的	同和問題をはじめ女性、子ども、高齢者、障がい者、アイヌの人々、外国人、ＨＩＶ感染者など、人権尊重の社会の実現に向け、嘉麻市人権教育・啓発基本方針に基づき、あらゆる差別をなくすことができるよう人権尊重の社会の実現を図ようにするため、自らの人権意識を高める。また、地域住民との交流や地域活動指導員（人権・同和教育指導員）等との連携を深め、人権・同和問題についての相互理解と連携意識の高揚を図ります。
事業内容	稲築・碓井・嘉穂地区において、解放学級・識字学級及び解放子ども会を開催し人権・同和問題についての学習を行っています。 （１）解放学級・識字学級及び解放子ども会の開催 （２）地区外住民との交流会の開催 （３）解放学級合同研修会の開催 （４）解放子ども会合宿研修会の開催 （５）解放子ども会フィールドワークの開催
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 解放学級の開催地区及び参加者数の減少 【課題等への取り組み】 高齢化による減少が多いため､若年層への呼びかけを行い参加者の増を目指しています。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
解放学級・識字学級及び解放子ども会を開催することで、学級生一人ひとりが、人権問題について更なる正しい認識と理解を深めることが出来、さらには、地域住民・団体との交流会を開催することで、お互いの理解と心のつながりを深め、思いやりの心等を養うことができ事業効果も高いと思われる。解放子ども会では、学校教育や社会教育との連携や交流を促進することで情報の共有化が図れ更なる事業の推進が期待できる。また、合宿研修会を開催することで、小・中学生が寝食、学習、野外体験活動を共にすることで、連携や交流を深め自主性を深めるなど、学び得ることは多く事業効果も高いと思われます。

今後の方向性	解放学級は現状維持をしながら今後も継続して行います。 解放子ども会については、稲築及び嘉穂地区について育成等を行います。
Ｈ２３年度の課題	解放学級生の参加者減少、稲築地区における解放子ども会の育成及び嘉穂地区における解放子ども会の再開が望まれます。

『評価委員の意見』
解放学級・識字学級の目的を明確にすべきである。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｂ　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［５５］文化芸術活動推進事業（生涯学習課：美術館係）** （予算：　　５３８千円　　決算：　　５３８千円）
目　　的	優れた芸術作品の鑑賞機会を市民に提供し、芸術活動を推進するとともに芸術鑑賞教育の機会を提供します。
事業内容	第６６回福岡県美術展展覧会筑豊巡回展の開催 開催期間　１１月９日（火）～１１月１４日（日）６日間 会　　場　嘉麻市サルビアパーク 出展作品　日本画、洋画、写真、グラフィックデザイン　計１３８点
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 ・織田廣喜美術館を活用した展示 ・運営について関係者との協議と検討 ・周知に努めるとともに学校からの引率について 【課題等への取り組み】 美術館での開催について美術館運営協議会で意見をいただきました。広報誌の他に出展作品をカラー写真で掲載したチラシやポスターの配布などを行い学校も含め周知を図りました。また、会場周辺に看板を立て、来場者に配慮しました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
今年は山田中学校美術部員が先生と来場し作品鑑賞を楽しみました。招待者の来場減等によりやや入場者が減少していますが、芸術を楽しむ市民に優れた様々な作品を一同に鑑賞する機会を提供することが出来ました。展示スペースの確保から例年通り有料のサルビアパークを使用していますが、即職員が対処出来ないのが現状です。

今後の方向性	旧山田市から引き継ぎ実施している県展は様々な作品を一同に鑑賞する機会として継続して行います。
Ｈ２３年度の課題	・美術協会とも協議し周知方法の再検討を行います。 ・美術館での開催も視野に入れ、関係者との協議を図る必要があります。

『評価委員の意見』
１年でも早く県展筑豊巡回展を美術館で行うべきである。
多くの人に来館してもらうため、美術館を市のシンボルとして活用すべきである。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｂ　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［５６］図書館施設管理運営事業（生涯学習課：図書館係）** **（予算：　１４２，４２９千円　決算：　１１２，２９０千円）**
目　　的	図書館を適切に管理運営することにより、読書環境の整備・充実を図り、快適かつ安心して利用する場を提供します。
事業内容	図書館職員又は受託業者が、施設、資料、システムを管理し、地域住民に応じた資料提供サービスを行っています。 ・図書館施設の保守点検・清掃 ・図書館資料の選書、分担購入 ・移動図書館車の運行 ・図書館だよりの発行
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 嘉麻市の図書館に相応しい運営方法、組織体制について検討する中で、中央館の選定についての考えを整理します。 稲築図書館が小さく蔵書も少ないので、充実を図れるよう検討します。 【課題等への取り組み】 中央館については、嘉麻市立図書館協議会に再度申入れを行い検討していきます。現在は、山田図書館がその役割を果たしています。 稲築図書館については、移転場所について現在協議中であります。
事務局自己評価	評価項目：事業の必要性　A：○　B：　C：　D： 評価項目：事業の効果　A：　B：○　C：　D： 評価項目：事業の効率性　A：　B：○　C：　D： 【自己評価の根拠】 赤ちゃんからお年寄りまで、嘉麻市民全員が利用できる図書館が身近にあることで、「地域の知の拠点」となっています。 貸出冊数は減少したものの登録者数は増加しており、新たな市民が利用されています。
今後の方向性	継続して図書館を適切に管理運営し、貸出冊数、登録者の増加を目指します。
Ｈ２３年度の課題	図書司書の資質向上を図るとともに、図書館未利用者への積極的な啓発に取り組みます。移動図書館車の運行拡大について検討します。

『評価委員の意見』
インターネットで他の図書館から本の取り寄せができるとよい。
碓井図書館の駐車場をもっと利用しやすくすべきである。
「山本作兵衛」の日記を山田図書館にも置いてほしい。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　C　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［５７］読書活動推進事業（生涯学習課：図書館係）** （予算：　　８０６千円　決算：　　６４９千円）
目　　的	おはなし会、講座等を開催することによって、市民の読書活動を推進し、図書館利用を促進します。
事業内容	赤ちゃんからお年寄りまで、様々な年代に対応した読書活動推進事業を実施します。 ・おはなし会（乳幼児向け、児童向け） ・ブックスタート ・雑誌リサイクル市 ・読書講演会　　等
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 子どもたちにはおはなし会等で本の楽しさを伝え、大人には読書の大切さを感じてもらい、図書館の積極的な利用につながるように事業の充実を図ります。 【課題等への取り組み】 絵本の読み聞かせを中心として、科学あそびや工作など子どもたちが興味を引くような事業を実施しました。美術館や子育て支援センター等他の機関との連携協力を行い、利用促進を図りました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
読書活動は、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであることに鑑み、各種事業を実施しています。これにより読書の楽しさ、習慣づくり、必要な知識や教養の提供ができています。

今後の方向性	ＰＲの充実を図り、更なる読書活動推進事業の充実を図ります。
Ｈ２３年度の課題	子どもの読書活動推進を図るため、「嘉麻市子ども読書活動推進計画」を策定します。また、おはなし会やブックスタート等の内容を充実させ、参加者の定着化や増加を目指すとともに、図書館の利用促進を図ります。

『評価委員の意見』
活動は見えているし、周知活動がよくされていると思う。

教育委員会評価	今回	Ｂ
	（前回）	（　Ｂ　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［５８］図書ボランティア養成事業（生涯学習課：図書館係）** （予算：　　２００千円　決算：　　６４千円）
目　　的	図書ボランティアの養成、活動支援を行います。
事業内容	図書ボランティア連絡協議会の活動支援、ボランティア養成講座の開催、ボランティアサークルによるおはなし会、学校での読み聞かせ等の活動支援を行います。 ・嘉麻市図書ボランティア連絡協議会（総会、研修会、交流会） ・朗読ボランティア養成講座、布の絵本展、学習支援ボランティア派遣
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 ボランティア養成講座の開催が、確実にボランティアの人材育成につながるような受講者に対するフォローアップに取り組みます。 【課題等への取り組み】 朗読ボランティア養成講座を開催し、新たにサークルが１団体発足しました。

事務局自己評価

評価項目	A	B	C	D
事業の必要性	○			
事業の効果		○		
事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
読書推進を図る上で、ボランティアの協力は必要不可欠です。ボランティアの協力を得ることによって、利用者の裾野を広げることができます。
ボランティアの協力、活動を通じて世代間の交流もできており、充実した事業が実施できています。

今後の方向性	市民の継続的な読書活動推進のため、事業を継続していきます。
Ｈ２３年度の課題	新規のボランティア開拓を図り、既存ボランティアの資質向上を目指します。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　B　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［５９］美術館運営管理事業（生涯学習課：美術館係）** （予算：　　３３，８６８千円　決算：　　３０，１２７千円）
目　　的	市民が利用できる文化芸術活動及び鑑賞の場を提供します。
事業内容	施設の維持管理、運営を行います。 適切な環境での美術資料の展示、保存と収集を行います。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 美術館駐車場への入口がわからない。（前年度評価委員意見） 市内外へ美術館の更なる周知を図り、来館者増に努めます。 関係団体等にアトリエや展示室５の利用について促します。 【課題等への取り組み】 入口モニュメントの修理に伴い文字を大きくし、また、碓井庁舎前に案内看板を設置しました。駐車場への誘導表示を４箇所に設置し、合わせて利用案内板も設置しました。オダビニュース、広報誌、チラシやポスター、マスコミなどを活用し、事業の案内を積極的に行い、来館者へ美術館という空間と環境の素晴しさを PR しています。従来の配布リーフレットを見やすくし、施設利用を促しています。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】
庁舎前の案内看板からモニュメント、そして駐車場誘導表示と一連の案内板設置により来館者の利便性が図られ、館の近くまで高齢者等が車で乗り入れ可能となりました。中には案内看板を見て初めてきましたとお客さんもいました。
市民アトリエは自主サークルの学びの場として活用され､生涯学習の一助を担っています。展示室５では市民団体や嘉麻市児童などの成果発表や交流の場と活用されています。また、初めて嘉穂中学校の卒業制作展が開催されるなど学校教育の場で活用が図られています。

今後の方向性	・文化芸術鑑賞や学習活動が快適かつ安心して利用・活用できるよう維持管理運営に努めます。また、子どもから高齢者、体の不自由な方など不特定多数の人々が気軽に来館し、憩えるよう努めます。
Ｈ２３年度の課題	・監視カメラの移りが悪くまた死角が多いため、監視カメラを取替え、作品保護の充実を図ります。 ・乳幼児をつれたお客様が安心して来館できるよう整備します。

『評価委員の意見』アイディアに期待している。
来館者増を望んでいるわりには、駐車場がまだ狭いし、入りにくい。
案内板の設置はとてもよかった。
現在開催している展示会の内容を記した看板を設置すると、さらに良くなると思う。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（　B　）

事業名 （予算・決算）	［６０］企画展事業（生涯学習課：美術館係） （予算：　　５，６６６千円　決算：　　５，４４１千円）
目　　的	優れた作品を鑑賞する機会を提供します。
事業内容	館蔵品や郷土の作家作品や児童画作品など６つの企画展を開催しました。 ・「春の館蔵品展」　4月 1日～ 4月 11 日（10 日間） ・「嘉飯山の画家たち展」　6月 19 日～ 7月 19 日（27 日間） ・「グランドファーザーズレターズ展」　7月 31 日～ 8月 29 日（26 日間） ・「たのしいこどものびじゅつてん」　9月 18 日～10 月 24 日（32 日間） ・「冬の館蔵品展」　12 月 4日～ 1月 16 日（31 日間） ・「春の館蔵品展」（山本作兵衛展）　3月 12 日～ 3月 31 日（17 日間）
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 ・夏休みの企画展の内容充実を図る。引き続き広報活動に努める。 ・身近な企画展をたくさん開催してほしい。（前年度評価委員意見） ・美術の交流展（美術協会の活動）も広くＰＲしてほしい。（前年度評価委員意見） 【課題等への取り組み】 ポスター、チラシ、市広報（ホームページ）、マスコミ、看板などによる広報活動を行いました。夏休み企画展「グランドファーザーズレターズ展」では絵手紙・絵封筒・折り紙教室、平和朗読会（朗読ボランティア）、ネパールのお友達に手紙を書こう（日本赤十字社）など参加事業を行いました。「冬の館蔵品展」では、関連事業としてアクロスレインボーコンサートを開催しました。身近な炭鉱作品として「山本作兵衛展」を開催し遺品なども展示しました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			

【自己評価の根拠】
「嘉飯山の画家たち展」や「たのしいこどものびじゅつてん」は鑑賞者が増える兆しが見えます。グランドファーザーズレターズ展は、図書館、文化財係と連携し事業を展開することができ、参加事業は楽しい夏休みの思い出となったようです。「冬の館蔵品展」（「パリを歩けば」）に合わせて展示室内で開催したシャンソンコンサートは、大変好評で、織田廣喜作品の新たな魅力を伝えることができました。「山本作兵衛展」では氏と作品の魅力をとおして炭坑の仕事や暮らしの様子を伝えることがきました。

今後の方向性	素晴しい空間と環境を活かし、優れた作品の鑑賞機会を提供していきます。
Ｈ２３年度の課題	・夏休み企画展については、関連事業も含め内容を充実させ学びを深めます。 ・「嘉飯山の画家たち展」については、出展の見直しを検討します。

『評価委員の意見』
もっと他の係と連携した事業を取り組んでほしい。
アンケートの集計結果を分析し、次の企画展につなげてほしい。
市民が足を運ぶ魅力ある企画展を開催すべきである。
作品展の告知看板等を設置し、もっと周知したほうが良い。

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（　A　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［６１］美術館ボランティア養成事業（生涯学習課：美術館係）** （予算：　　３１千円　決算：　　８千円）
目　　的	美術館事業に積極的に参画する人材の育成を図る。
事業内容	・ボランティア会議及びジュニア美術学科等の打ち合わせ学習。 ・ジュニア美術学科講師補助および企画展展示補助 ・ボランティア研修交流会
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 ・ボランティア登録者の拡大と人材の育成 【課題等への取り組み】 ・市広報により募集を行う ・他美術館事業へ参加し、その後ボランティアと意見交換を行いました。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
美術館事業をきっかけにボランティアが集い人間関係を深めることが出来ました。指導補助により指導が行き届き、子どもたちは楽しく学ぶことが出来ました。ボランティアの方々も子どもたちとの発想を大切に、ふれあいを楽しんでいたようです。直方谷尾美術館で子どもに関する事業に参加しました。ボランティアと意見交換することで他館の取組みや考え方に触れることが出来ました。

今後の方向性	今後も美術館活動の充実と人材育成を図るため事業を継続します。
Ｈ２３年度の課題	・ボランティアの学びを支援するため様々な情報提供を行う必要があります。 ・ボランティア意識の向上と活用を検討する必要があります。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　A　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［６２］美術教育普及事業（生涯学習課：美術館係）** （予算：　　７００千円　決算：　　５１５千円）
目　　的	市民が楽しみながら美術への関心と興味を深める学びの機会を提供します。
事業内容	６講座を開設しました（内訳大人講座：３　子ども講座３） ・木版画講座　：　２０回（通年）　１８歳以上　受講者１３人 ・テンペラ画講座　：　６回　１８歳以上　受講者２５人 ・美術講座　１回　１８歳以上 ・ジュニア美術学科：　１１回（通年）　小中学生　受講者３８人 ・わくわくアトリエクラブ　２回　小学生とその保護者 受講者計９８人（保護者４５人） ・オダビアートクラブ　５回　小学生　参加者計１７４人 （大人６２人）
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 専門的な人材の活用で、もっとよい講座になることを期待する。（前年度評価委員意見） 子ども対象講座は開設方法を検討する。 学校教育との連携や住民ニーズにあった講座を目指す。 【課題等への取り組み】 ジュニア美術学科は学び充実のため午前と午後（５年生以上）にわけ実施しました。各講座とも様々な専門講師をまねき、楽しみながら学んでいます。

事務局自己評価	評価項目	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		

【自己評価の根拠】
情操教育として美術教育の必要性からか子ども対象の講座は受講希望者が多く、子どもたちは様々なことを体験することができました。作品は館内や図書館に展示し、学びの成果発表することにより意欲向上にもつながると思われます。木版画講座は、自主サークルとなり学びを継続することになりました。

今後の方向性	今後も美術館という素晴しい環境を活用し子どもから大人までがアートを身近に感じ体感してもらえるよう美術教育の充実を図ります。
Ｈ２３年度の課題	より充実した学びが出来るよう、ジュニア美術学科とオダビーアートの開設方法や就学前の子どもも参加できる内容についても検討します。

『評価委員の意見』

評価委員の意見はありませんでした。

教育委員会評価	今回	B
	（前回）	（　A　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**［６３］歴史民俗普及事業（生涯学習課：文化財係）** （予算：　　１，９７８千円　決算：　　１，９７８千円）
目　　的	文化財の保存継承のため、学習を通じた周知化や学術研究等への活用を行います。
事業内容	・講座等の学習と企画展を同一のテーマで実施し、展示は碓井郷土館を中心に展開します。 ・指定文化財及び関連施設や案内・説明板の充実、文化財関連情報の提供を行います。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 ・テーマ設定を「遠賀川以東と以西地域の文化」とし考古学の講座を行います。また、碓井郷土館を利用した、嘉麻市内出土の重要考古資料の展示会を実施し、集客数増加と周知化を図ります。 ・平和企画展を行い、大隈小学校所蔵の「青い目の人形」について平和学習面での教材化を図ります。 【課題等への取り組み】 ・テーマに則した講座・企画展および平和企画展を実施しました。 ・指定文化財及び関連施設や案内板・サインの充実を図りました。
事務局自己評価	評価項目 / A / B / C / D 事業の必要性：○ 事業の効果：○ 事業の効率性：○ 【自己評価の根拠】 教育普及事業の講座・企画展等は、中心事業であり、講座と企画展示の連動は、より効果的でした。また、平和祈念館と「青い目の人形」展においても、マスコミをはじめ予想以上に反響をよびました。 稲築文化ふれあい伝承館及び山野の石造群は、サインや案内板、伝承館の塀に名称の大文字を取り付けるなど、国道からの誘導を意識した設置を行ないました。しかし、稲築地区のサイン自体が見えにくい点があり、所管の企画課がサイン全体を効率よく見直す必要性を感じＢとしました。
今後の方向性	碓井平和祈念館と「青い目の人形」を組み合わせた平和学習や碓井郷土館を中核とした嘉麻市の歴史学習を推進します。
Ｈ２３年度の課題	平和祈念館企画展と「青い目の人形」展示、土曜講座の３つを連動させながら、「戦争」という一つのテーマに沿った事業を展開します。
『評価委員の意見』 平和の火の活用として、八女市（星野村）のような活用ができたらよいと思う。 遺族会と連携して、平和学習を行ってみてはどうか。	

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（　A　）

Ａ　期待通り、Ｂ　概ね期待通り、Ｃ　課題あり、Ｄ　事業の見直し要

事業名 （予算・決算）	**[６４]文化財保護事業（生涯学習課：文化財係）** （予算：　　２０，６０４千円　決算：　　２０，６０４千円）
目　　的	文化財の保存継承のため、調査・指定・維持管理・管理運営等を行います。
事業内容	・展示保存施設及び環境の整備を進めます。 ・所蔵資料の整理、データベース化の継続的実施と管理体制の整備を進めます。 ・指定文化財の現状における専門的調査を行います。
Ｈ２２年度の課題と取り組み	【課題等】 ・稲築文化ふれあい伝承館の通路・排水および環境等の整備 ・碓井平和祈念館・郷土館所蔵資料の整理、データベース化の実施と継続 ・指定文化財の専門調査の実施 【課題等への取り組み】 ・稲築文化ふれあい伝承館の整備事業を実施しました。 ・碓井平和祈念館の資料及び嘉穂地区の古文書整理、美術館倉庫内への収納棚の設置、文化財整理室への空調設置等を行ないました。 ・桑野高木神社の碑伝の調査と福岡大学桃崎先生による碓井・嘉穂・稲築地区の古墳・石造物等の調査を行ないました。
事務局自己評価	評価項目 / A / B / C / D 事業の必要性 / ○ / / / 事業の効果 / ○ / / / 事業の効率性 / ○ / / / 【自己評価の根拠】 ・伝承館の周囲の欠陥的設備の改修、所蔵資料の整理と環境設備の充実化、指定物件候補の調査の何れも、山積みされた課題でしたが、国の経済対策を活用して、一気に取組む事が可能となりました。また、専門調査により新たな発見が多く、嘉麻市の歴史をより深める結果となりました。
今後の方向性	・嘉麻市所蔵資料の整理、データベース化実施の継続と資料館施設機能の充実、施設の統合等を検討します。
Ｈ２３年度の課題	碓井郷土館・平和祈念館所蔵資料の整理、データベース化を終了させ、次の準備に入る。また、各資料館施設の機能充実のため、中核施設と地域の特性を活かした施設との区分を行ない、それに沿った展示資料を検討し、６施設の統合も視野に入れた計画とします。
『評価委員の意見』 各所ですばらしい整理がされているが、将来、一箇所に集めることは検討したほうが良い。	

教育委員会評価	今回	A
	（前回）	（　B　）

A　期待通り、B　概ね期待通り、C　課題あり、D　事業の見直し要

5. 全体評価結果

⑴　全体評価結果

全体評価結果については、事務局の自己評価と評価委員の意見をふまえた教育委員会の評価結果は下記のとおりとなりました。（全６４事業）

	前年度教育委員会評価		教育委員会評価
Ａ：期待通り	１０事業（15.6%）	⇒	１３事業（20.3%）
Ｂ：概ね期待通り	４１事業（64.1%）	⇒	４８事業（75.0%）
Ｃ：課題あり	１３事業（20.3%）	⇒	３事業（ 4.7%）
Ｄ：事業の見直し要	０事業（ 0.0%）	⇒	０事業（ 0.0%）

今回、評価の方法として、事業完了度ではなく目的達成度の観点から総合的に評価を行いました。第三者評価を含んだこれらの評価手法については、今後も引き続き改善を図りたいと考えています。

全体的な年度比較では、課題ありの「Ｃ評価」が２０．３%から４．７%と１５．６%と大幅に減少し、期待通りの「Ａ評価」が１５．６%から２０．３%（４．７%増）へ、概ね期待通りの「Ｂ評価」が６４．１%から７５．０%（１０．９%増）へ、全体の評価傾向として向上していると考えております。今後はＣ評価をなくすため、Ｂ評価はＡ評価に、Ｃ評価はＢ評価になるよう、更なる事業展開や改善を図る必要があります。

⑵　重要課題ごとの評価及び課題

○　重要課題１「確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実」

学校教育環境の充実のための少人数指導や特別支援学級指導員等の人的支援や施設整備などについては計画通りの事業が実施できています。ソフト面では「家庭学習のすすめなど」家庭学習に力を入れた取組みを行いました。また、奨学金貸付事業の滞納整理では法的手続きを含んだ徴収、小中連携教育など長期的に取組む事業に課題があります。

○　重要課題２「豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進」

道徳教育推進事業については、更なる充実を求める意見があり、内容等についても充実を図りたいと思います。学社連携・融合事業では、学校の中に学社連携の担当者を置くなど、連携・融合のための大きな一歩を進めることができました。

課題としては、青少年健全育成事業での補導員の高齢化の解消や不登校対策を強化することなどがあります。

○　重要課題３「生涯学習社会の実現を目指す社会教育の推進」

公民館活動の活性化、社会教育団体の指導者や後継者の育成など、地域行事を支える人たちの支援や活動の周知について課題があります。青少年の体験活動事業では、地域の協力を得ることができ、市内全域で事業が取り組めるよう環境を整えることができました。

○　重要課題４「いきいきとしたスポーツライフの創造」

現在、幼児、児童、生徒等を対象としたスポーツ教室、スポーツ環境整備等、子どもたちの体力向上のための身近に運動できる事業について評価をいただき、これらの事業を市内全域で展開できるよう取組みを進めたいと思います。課題としては、スポーツ指導者の指導力向上のための講習会の周知や市内総合型スポーツクラブの知名度の低さなどがあります。

○　重要課題５「人権尊重教育を育成する教育の推進」

人権・同和教育の推進を図るために各種学習会を計画的に実施していますが、参加者の減少や企業の協力が少ない等の課題があります。また、人権同和対策課と連携した事業を展開、地域リーダーへ研修事業を強化するなどの指摘をいただき、更なる取り組みや啓発を行う必要があります。

○　重要課題６「特色ある市民文化の創造」

図書館事業は、利用者の利便性向上などについて課題があり、今後も図書館の利用促進を図っていきます。美術館事業は、広報活動や美術館の利用促進について評価されました。しかし、県展の美術館の活用について課題があります。歴史民俗普及事業では、学校教育課や美術館係と連携し、「平和の火」を活用した平和学習授業や関連した企画展等を実施できるよう協力体制を整える必要があります。

⑶　おわりに

今回点検した教育委員会の事業は、「嘉麻市教育アクションプラン」に具体的な数値目標と、それに対応した行動計画としてを策定しており、計画的かつ効率的に諸施策を着実に進めている状況です。

また、市民の点検評価委員のみなさまからは評価に対する指摘、改善策、貴重な意見等を頂きました。これらの貴重な意見を事業に活用し、今後の嘉麻市教育行政の発展に役立てていきたいと思います。

最後に、今回点検評価に参加・ご尽力くださいました委員の皆様に心よりお礼を申し上げ、今後とも嘉麻市行政にご協力をお願いいたします。

《 資　　料 》

嘉麻市教育委員会点検評価実施要綱

［平成２１年嘉麻市教育委員会要綱第６号］
［平成２３年嘉麻市教育委員会要綱第４号］

（趣旨）

第１条　この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和３１年法律第１６２号）第２７条及び嘉麻市教育基本条例（平成２２年嘉麻市条例第１６号。以下「条例」という。）第７条の規定に基づき、嘉麻市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する事務の点検及び評価について、必要な事項を定めるものとする。

（点検評価事項）

第２条　教育委員会は、前年度の教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、次に掲げる事項の点検及び評価（以下「点検評価」という。）を行う。

（１）　教育委員会の会議の実施状況等に関すること。

（２）　教育委員会の主要な施策に関する執行の状況及びその成果に関すること。

（点検評価の方法）

第３条　教育委員会は、点検評価を実施するに当たり、別に定める評価表により教育委員会事務局において、その所管する事務事業等の自己評価を行わせるものとする。

２　教育委員会は、前項の自己評価の結果について評価の客観性を確保するため、嘉麻市教育委員会点検評価委員（以下「評価委員」という。）を設置する。

３　教育委員会は、評価委員の意見を踏まえ、教育委員会の会議において最終的な点検評価を行う。

（評価委員）

第４条　評価委員は、１０人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

（１）　嘉麻市議会議員

（２）　嘉麻市ＰＴＡ連合会委員

（３）　嘉麻市社会教育委員

（４）　嘉麻市公民館運営審議会委員

（５）　嘉麻市立図書館協議会委員

（６）　嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会委員

（７）　嘉麻市体育指導委員

（８）　嘉麻市文化財保護審議会委員

（９）　その他教育委員会が適当と認める者

（公表の方法）

第５条　教育委員会は、条例第７条の規定により点検評価の結果に関する報告書は次に掲げる方法で公表する。

（１）　嘉麻市公式ホームページに掲載

（２）　報道機関に提供

（３）　教育分室等での閲覧

（庶務）

第６条　点検評価の実施に関する庶務は、教育部学校教育課において処理する。

（その他）

第７条　この要綱に定めるもののほか、点検評価の実施に関し必要な事項は、教育長が定める。

附　則

この要綱は、平成２１年７月８日から施行する。

附　則

この要綱は、平成２３年４月５日から施行する。

平成２３年度嘉麻市教育委員会点検評価委員名簿
（評価対象年度・・・・平成２２年度）

	団　体　名	氏　　名	備考
１	嘉麻市議会	田淵　千恵子	
２	嘉麻市ＰＴＡ連合会	掛橋　啓	
３	嘉麻市社会教育委員	坂田　勲	
４	嘉麻市公民館運営審議会	鹿江　由美子	
５	嘉麻市立図書館協議会	伊藤　惠美香	
６	嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会	松岡　修一	
７	嘉麻市体育指導委員	山方　国和	
８	嘉麻市文化財保護審議会	香月　靖晴	
９	その他教育委員会が適当と認める者	浅田　勉	

嘉麻市教育委員会点検・評価報告書
（平成２２年度事業分）

発　　行　　嘉麻市教育委員会
（お問い合わせ先）
嘉麻市教育委員会教育部嘉穂地区小学校開校準備室
〒820-0392　福岡県嘉麻市大隈町７３３番地
ＴＥＬ　0948-57-3198

発行年月　　平成２３年９月